

第七次中井町総合計画

総合計画策定に向けた中井町民アンケート等 の実施結果の報告

2024年12月24日

中井町企画課

日本電気株式会社

町民を対象としたアンケート調査の結果

1. 町民のウェルビーイングに関する調査結果

Point

今年10月に町民の皆さんを対象にアンケートを実施しました。

中井町における幸福度に関する特徴を抽出することを目的に紙のアンケートおよびWebアンケートを実施。

実施期間 : 2024年10月11日(月)～28日(月)

対象者 : 中井町に在住もしくは中井町で勤務する人を中心に、町と関わりのある人

調査方法 : Web回答、紙の調査票へ記入し送付

配布数 : 無作為抽出した町民3,000名

回収数 : 1,036件

Web回答 … 370件(うち英語回答27件)

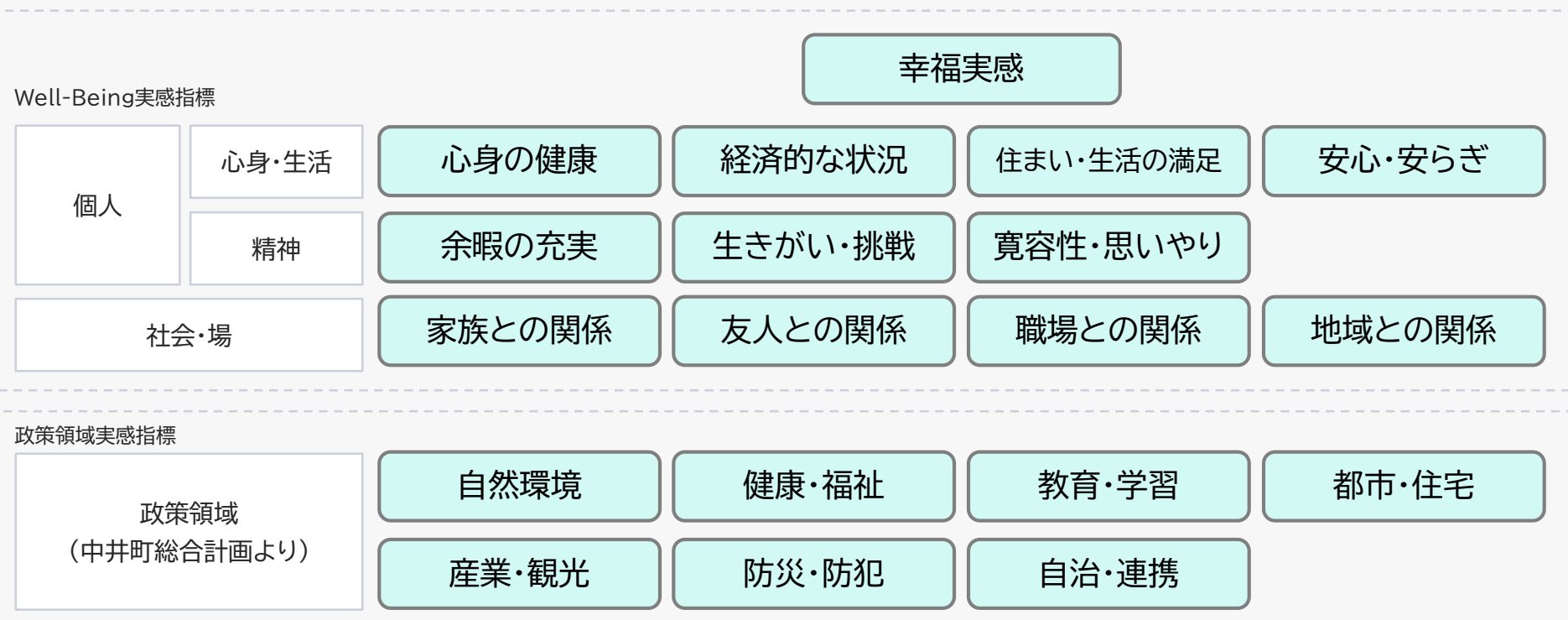
郵送回答 … 666件

1. 町民のウェルビーイングに関する調査結果

Point

アンケートは以下の構成としており、個人のWell-Beingに加え地域社会に関わるWell-Beingを把握することと、各政策領域に関する実感を把握。

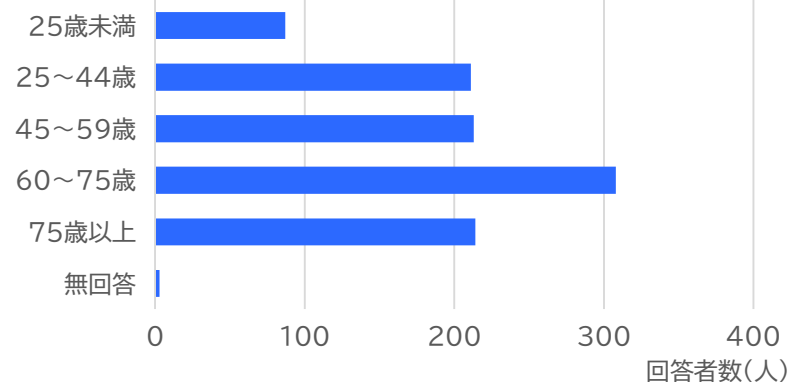
アンケートの構成



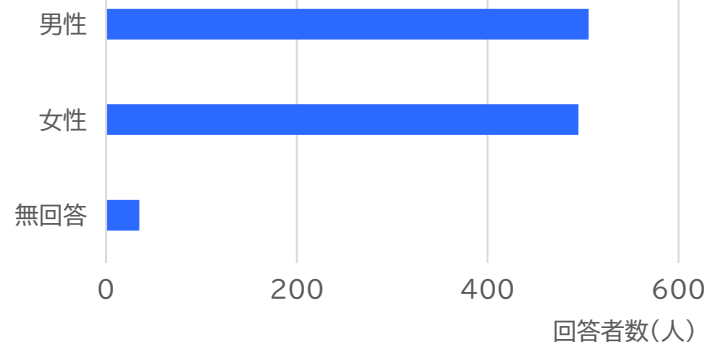
1. 町民のウェルビーイングに関する調査結果

Point 回答者の状況は次のとおり。

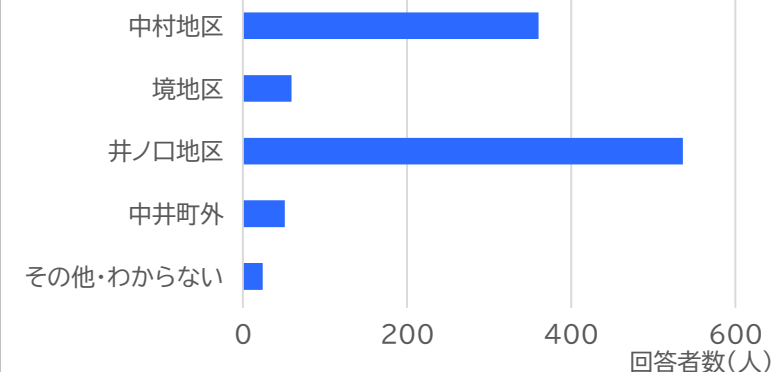
年代別



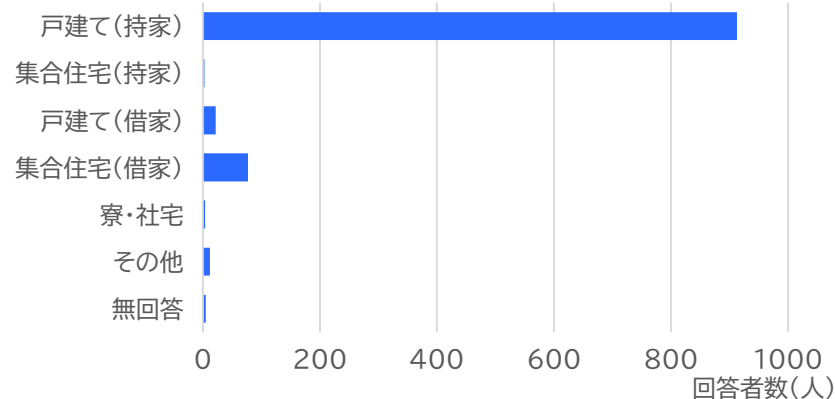
性別



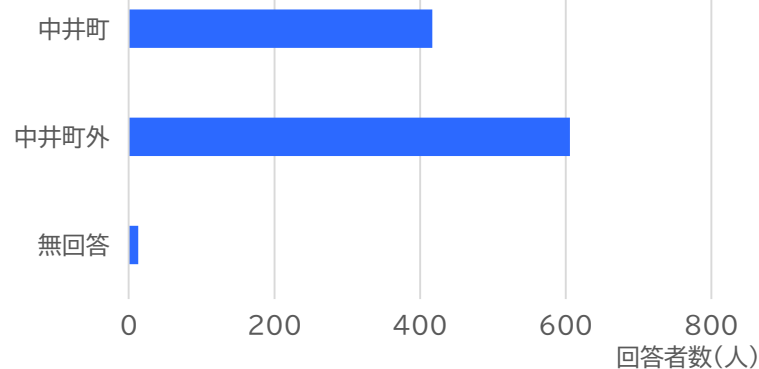
居住地区



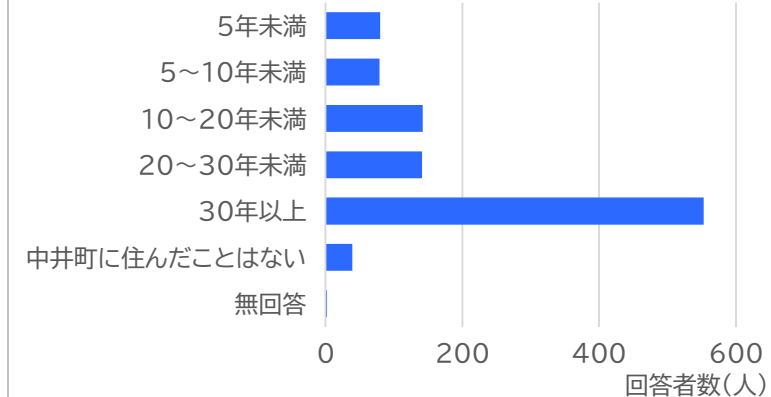
住居状況



出身地

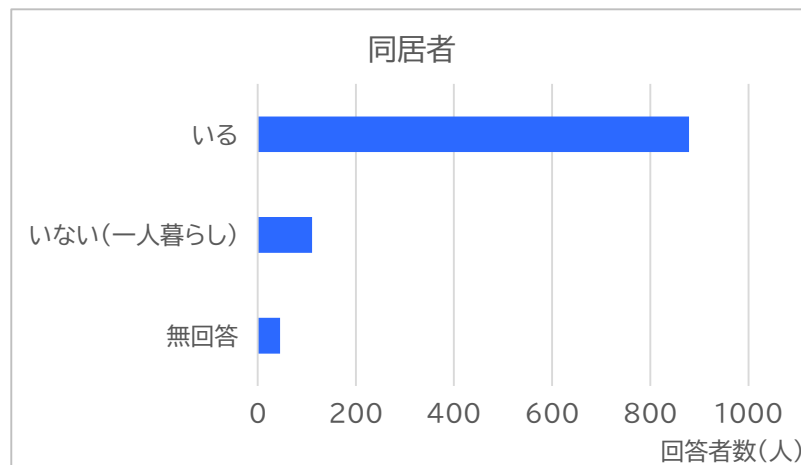
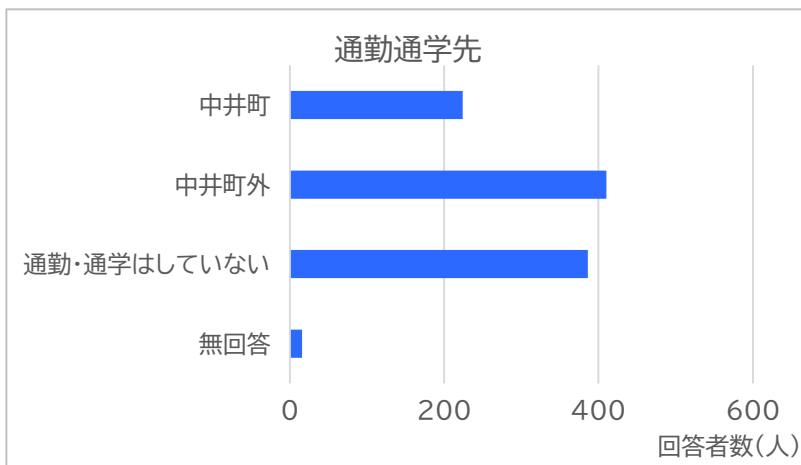
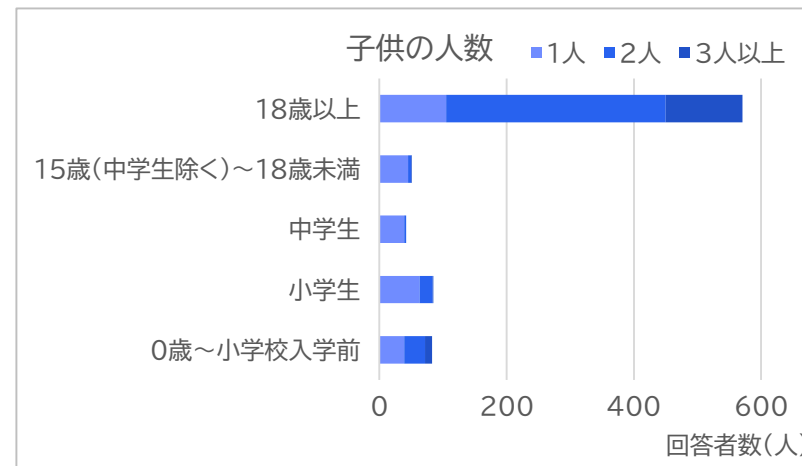
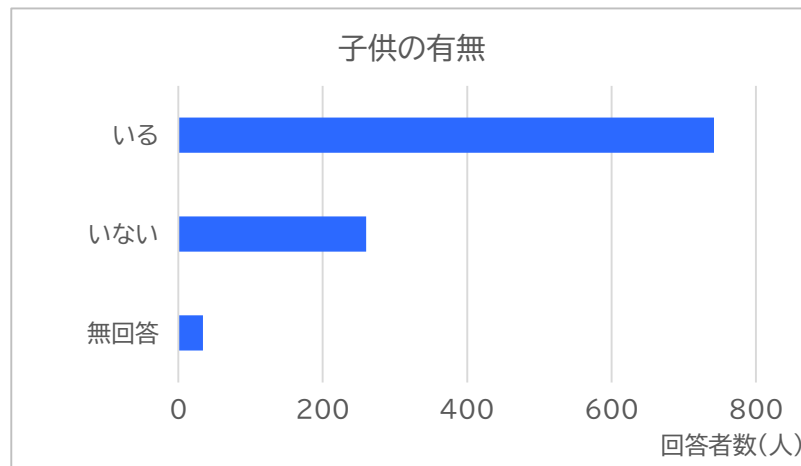
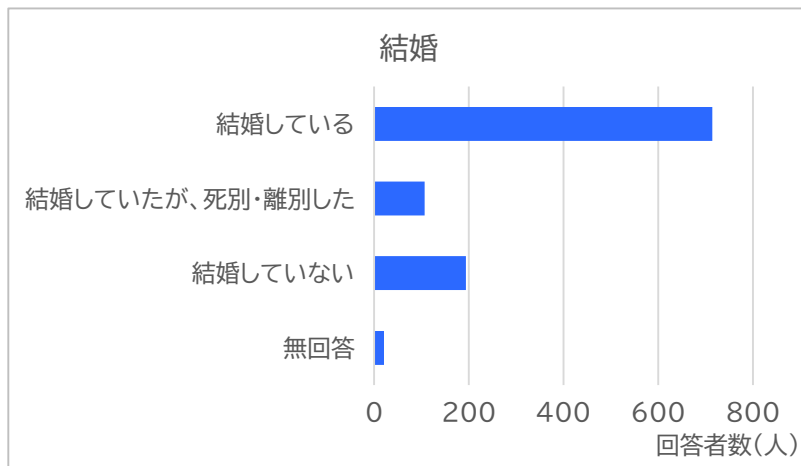


居住年数



2. 町民のウェルビーイングに関する調査結果

Point 回答者の状況は次のとおり。

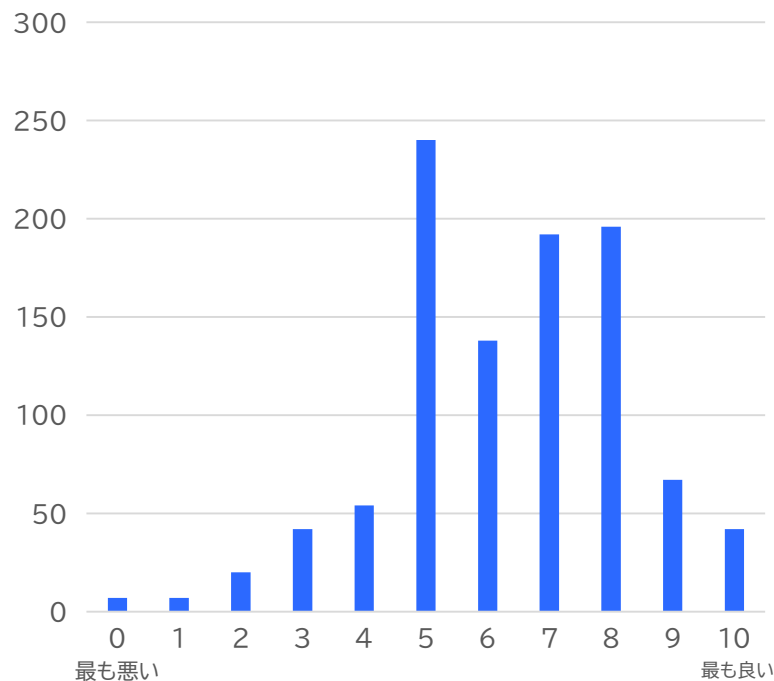


1. 町民のウェルビーイングに関する調査結果

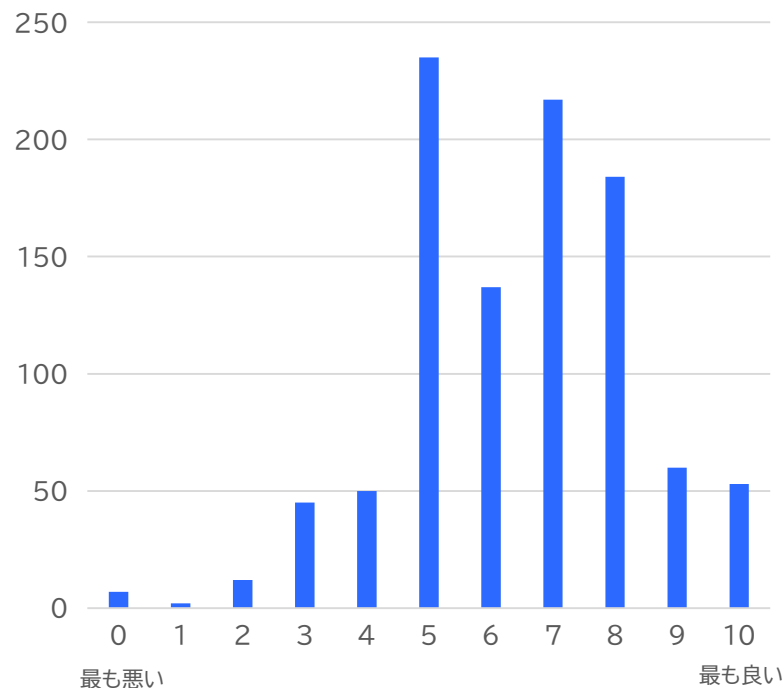
Point

町民の幸福実感は、5と7～8に山がある回答結果になった。
これは全国の他の地域の平均と似た傾向になっている。

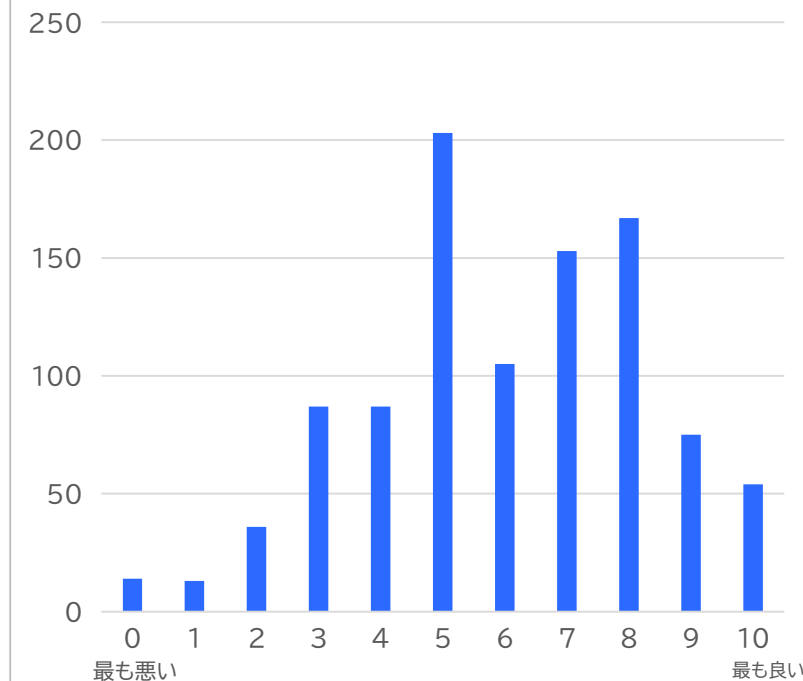
幸福実感(5年前)



幸福実感(現在)



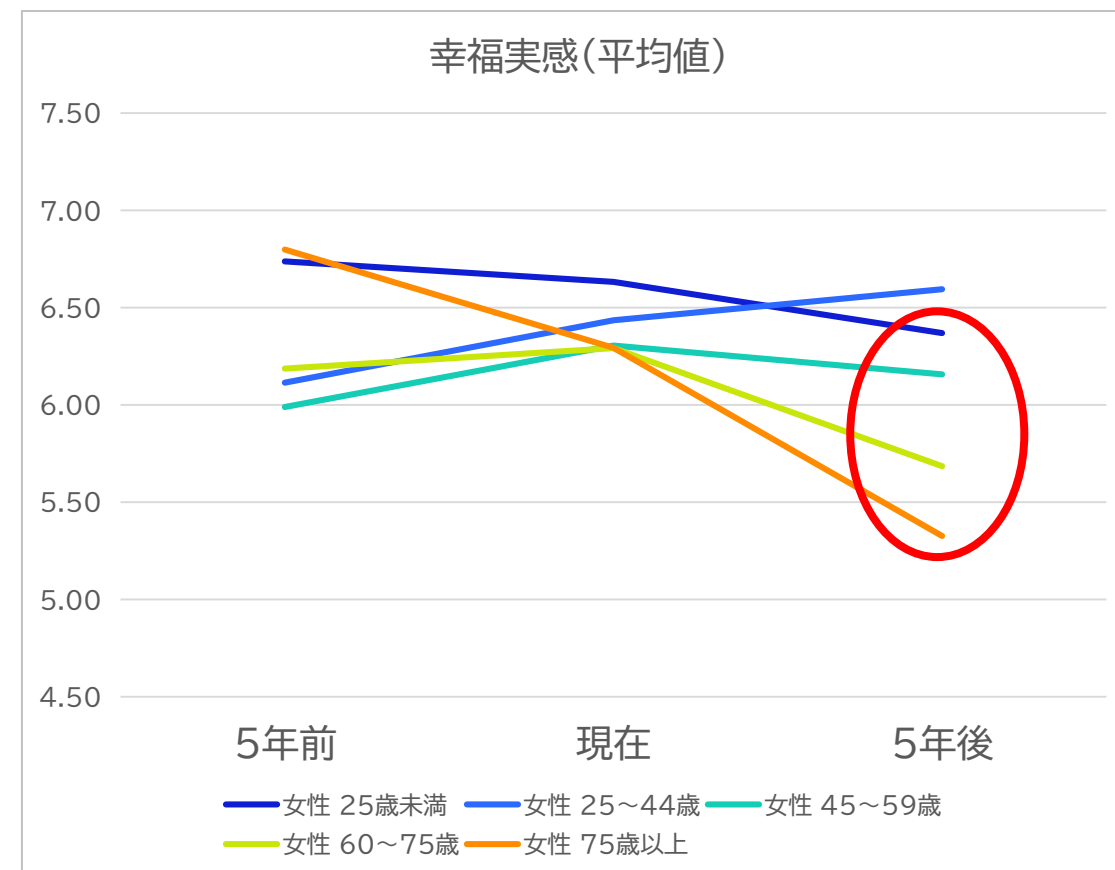
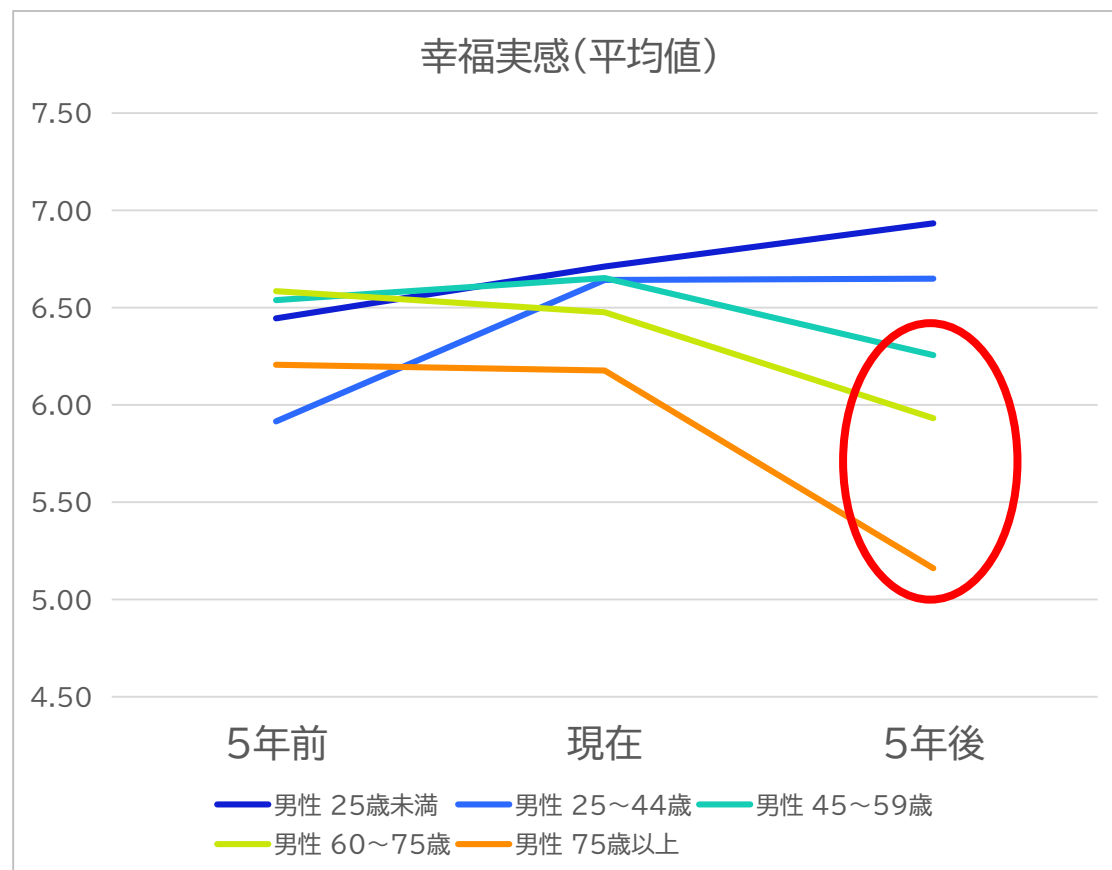
幸福実感(5年後)



1. 町民のウェルビーイングに関する調査結果

Point

現在の幸福実感は25歳未満が高く、年齢が高くなるとともに低くなる傾向である。
5年後の幸福実感の落ち込みも年齢が高いほうが大きい。



(参考)全国におけるWell-Being調査結果

Point

全国調査においては、19歳以下で総合実感が高く、50代に向けて低くなる。
60代、70代では「現在」に比べ「5年後」の方が低い。

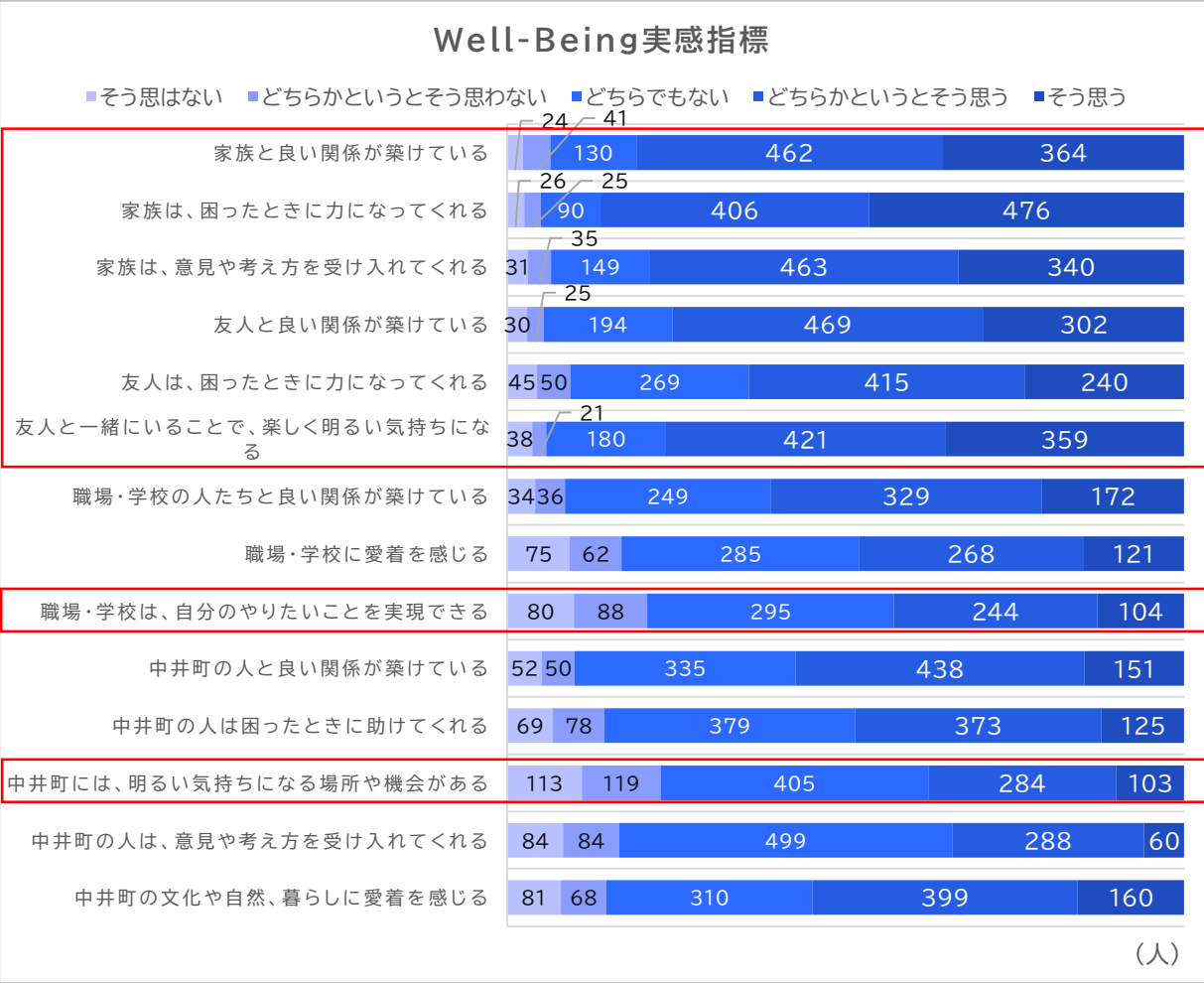
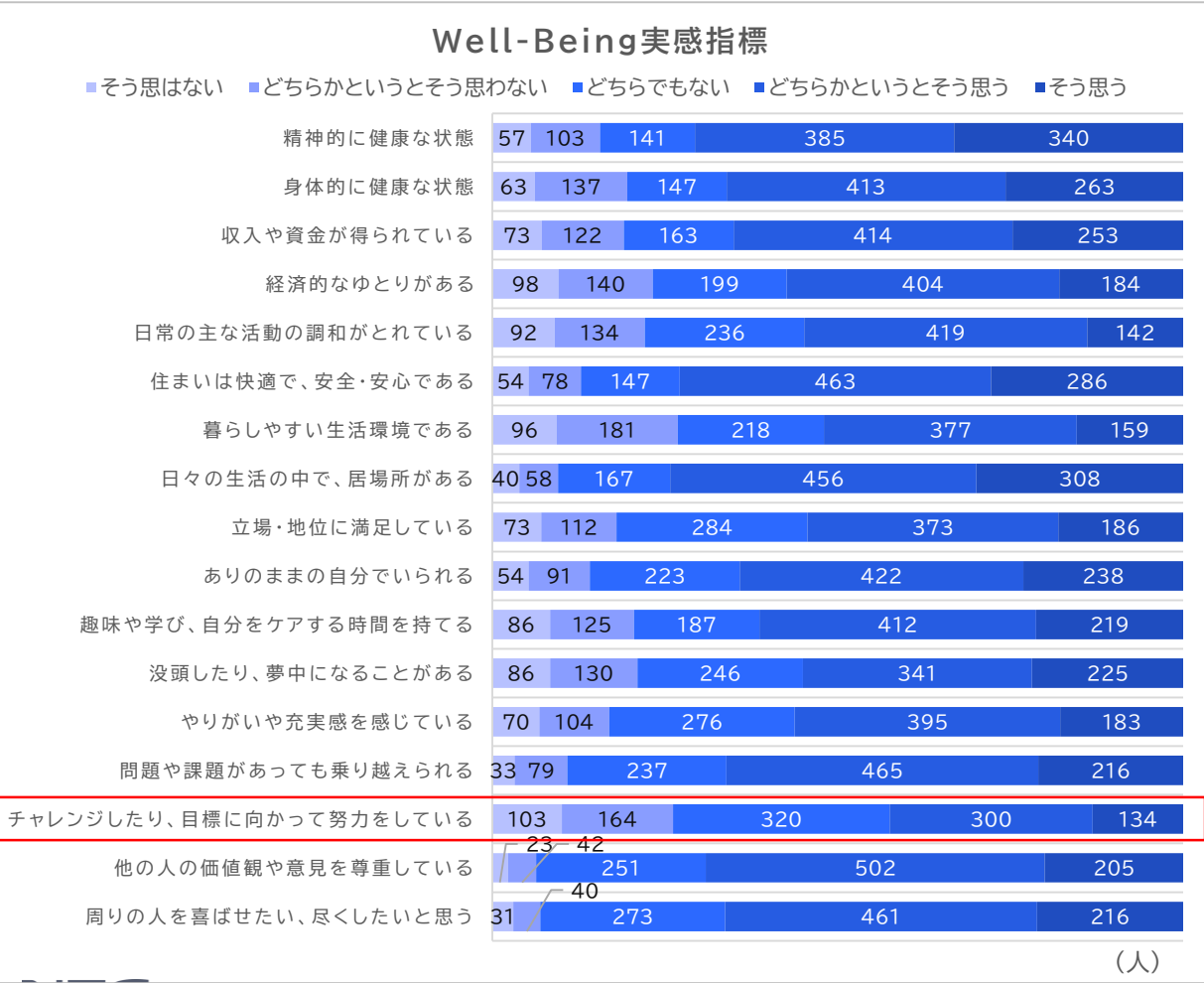
全国調査結果における年代別総合実感平均値

男性	5年前	現在	5年後	女性	5年前	現在	5年後
全体	5.9	6.0	6.2	全体	5.9	6.1	6.5
19歳以下	6.9	7.1	7.6	19歳以下	6.1	6.3	7.2
20～29歳	6.1	6.2	6.8	20～29歳	5.7	5.9	6.9
30～39歳	5.5	5.8	6.4	30～39歳	5.4	5.7	6.6
40～49歳	5.4	5.5	5.8	40～49歳	5.5	5.8	6.3
50～59歳	5.5	5.4	5.6	50～59歳	5.7	5.9	6.2
60～69歳	6.0	6.0	5.9	60～69歳	6.2	6.4	6.2
70歳以上	6.7	6.7	6.4	70歳以上	6.9	6.9	6.4

1. 町民のウェルビーイングに関する調査結果

Point

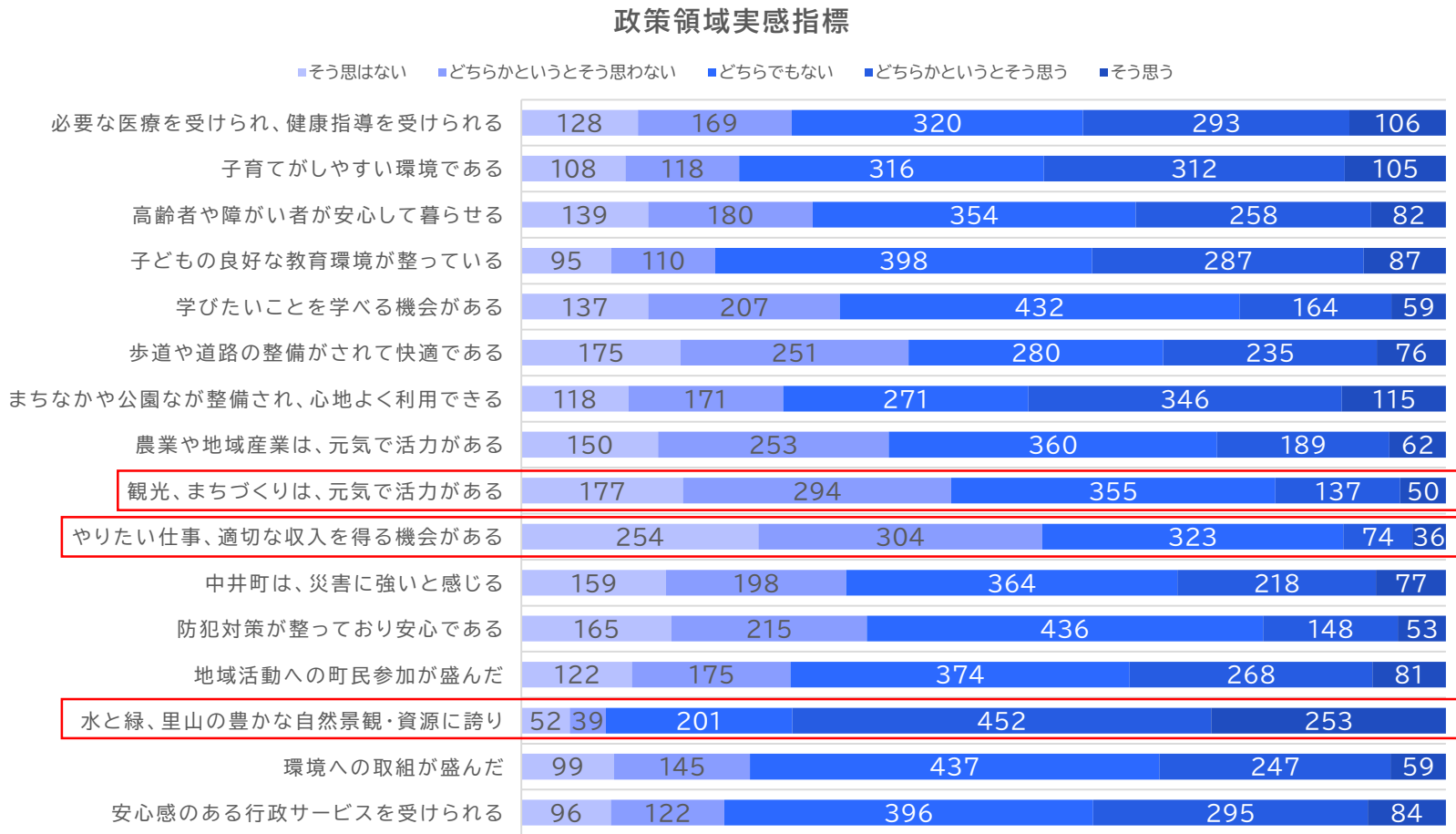
Well-Being実感指標は、「家族」「友人」とのつながりは評価が高い。「暮らしやすい環境」「チャレンジ」「職場・学校はやりたいこと実現できる」「明るい気持ちになる場所がある」がやや低い評価となった。



1. 町民のウェルビーイングに関する調査結果

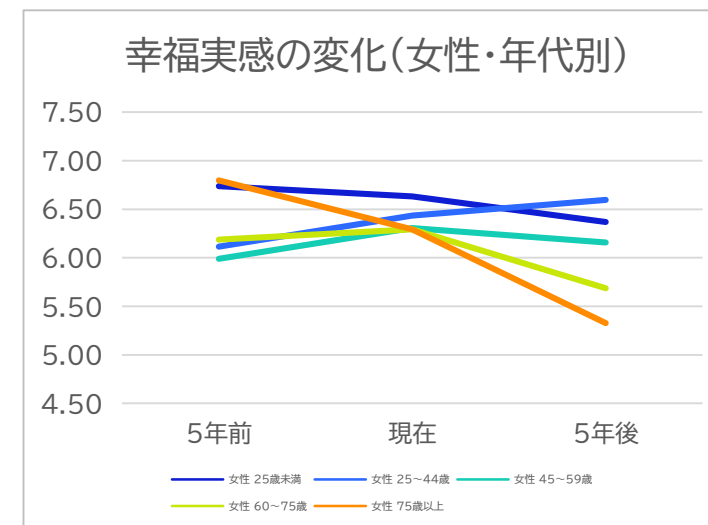
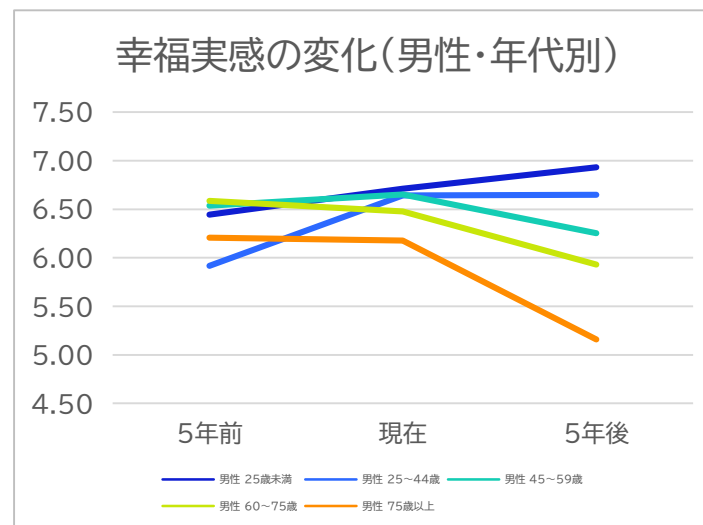
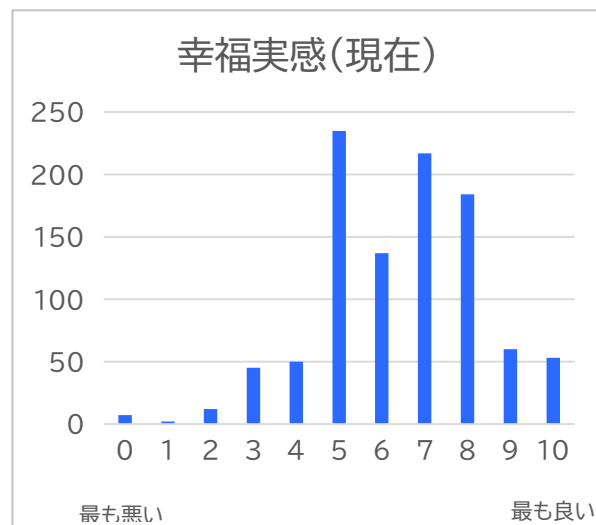
Point

政策領域実感指標は、「自然景観・資源」が高い評価となり、「仕事、収入を得る機会」「観光、まちづくりは元
気」が比較的低い評価となった。



(人)

1. 町民のウェルビーイングに関する調査結果



アンケート結果を単純集計した結果からは以下のような傾向が読み取れた

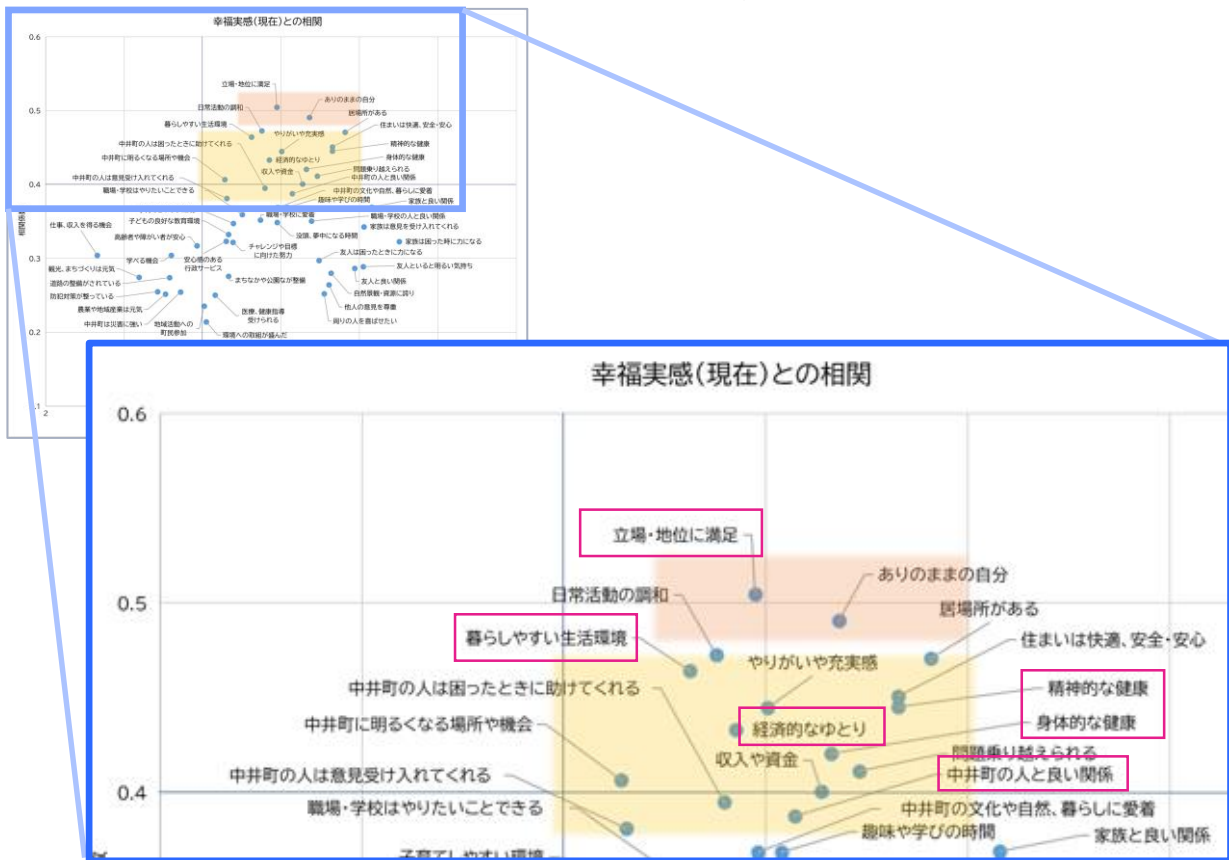
- ①全国に比べて、中井町の町民の現在の幸福実感は高い(中井町平均6.4に対して全国平均は6.0)
- ②将来に対する幸福実感は全国に比べると少し低く(中井町6.0に対して全国6.3)、また、高齢になるほど将来の幸福実感が下がる
- ③家族や友人との関係が良く、町の自然に誇りを持っている

1. 町民のウェルビーイングに関する調査結果

Point

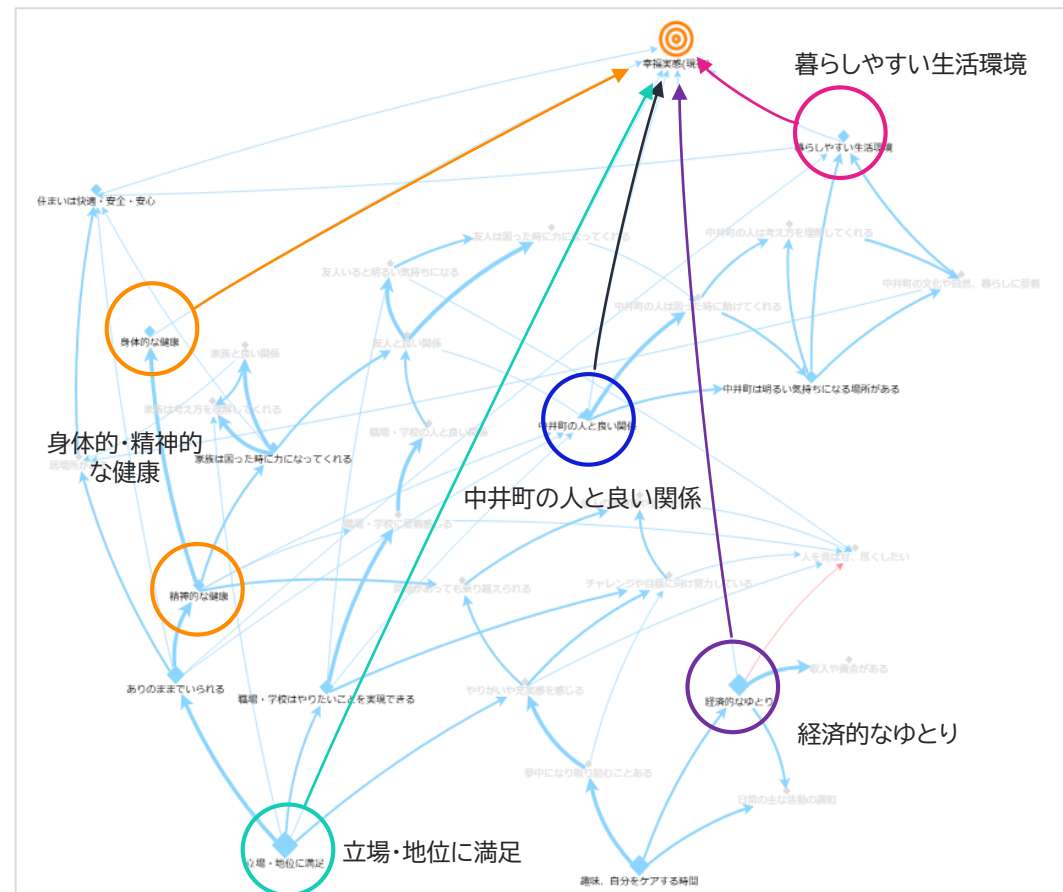
アンケート結果から、幸福実感につながる要素について相関分析・因果分析を実施したところ、中井町町民の幸福の実現に関係性の強い要素を発見。

相関分析結果



※相関分析とは・・・幸福実感と各要素の相関関係(2つの事柄の関係の強さ)の強弱を分析

因果分析結果

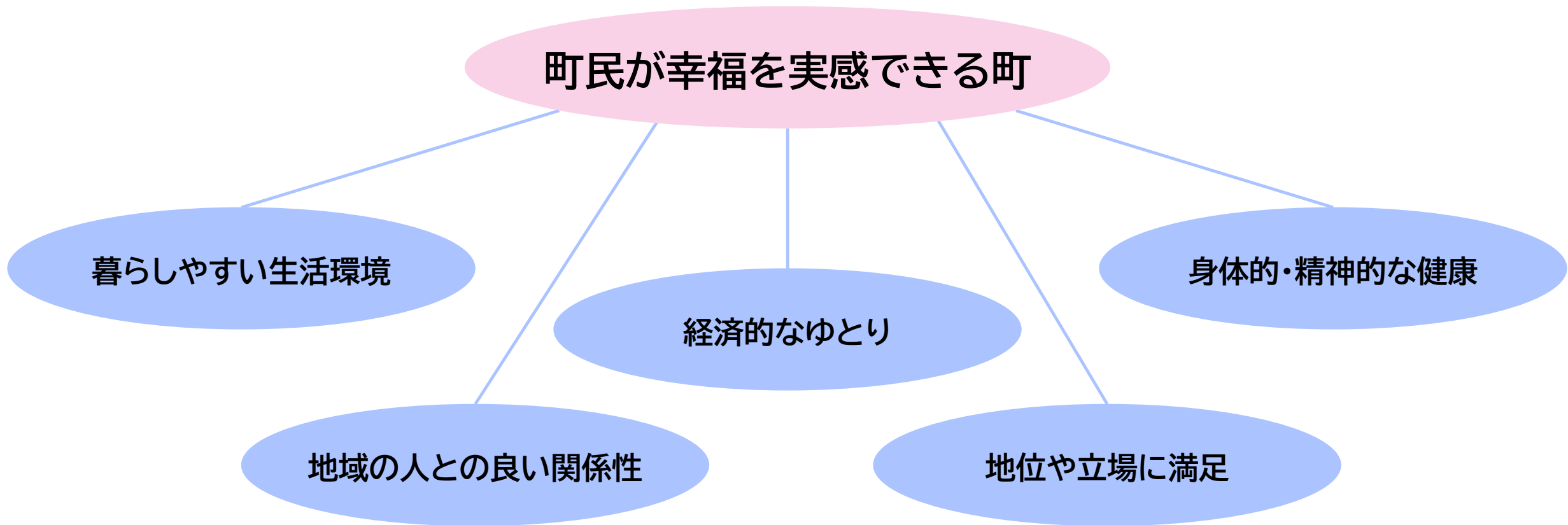


※因果分析とは・・・幸福実感につながる複数の要素の因果関係(繋がりの流れ)を分析

1. 基本構想における5つの方向性の案

Point

アンケート分析から得られた中井町民の幸福感に強く影響する要素を踏まえて、町民の幸福の実現に向けた5つの方向性の案を導きだしたところであり、今後、総合計画審議会において議論を行う予定。



町民を対象としたワークショップの実施結果結果

2. 町民ワークショップの概要

Point

2024年12月1日(日)に、「中井町の10年後を考える住民参加型ワークショップ」を実施。
町内関係者(町内に在住・在勤・在学されている方)は12名の方がご参加いただいた。

● 目的

- ・ アンケート並びに町内関係者へのインタビューから、町民のウェルビーイングをゴールとしたロジックモデル仮説を構築
- ・ 町民との対話を通じて、上記仮説の確からしさについて確認するとともに、町民のウェルビーイングについて深掘りする

● 実施方法

- ・ 日時:2024年12月1日(日) 13:00-16:00
- ・ 場所:中井町役場 3階 大会議室
- ・ 形式:ワールドカフェ方式
- ・ 参加者:町内関係者(12名)、関東学院大学学生(12名)、中井町役場企画課職員様、NEC

● ディスカッション項目

1. 因果分析から導かれるロジックモデル仮説をウェルビーイングストーリーに見立て、納得感についてヒアリング
2. アンケート並びにインタビュー結果を踏まえ、10年後の中井町について町内関係者と議論
3. ウェルビーイングを実現するために必要な要素や課題について、①行政 ②中間組織 ③個人の3つの視点から検討

2. 町民ワークショップで得られた意見

Point

町内関係者から10年後の中井町の課題として、以下5つの観点があげられた。
そのなかで行政/地域/町民の3つの視点から取り組むべきことについて議論を実施。

- 町民が感じるまちの課題 : 1. 移住者の受け入れ 2. 交通 3. 高齢者の独居 4. 子育て支援 5. その他

- 行政への提言

1. 移住者の受け入れ

- ・ 経済合理性でなく「田舎らしさ」をアピールしつつ、移住者の居住環境の支援(民間空き家の支援、町営住宅の貸出)が必要ではないか
- ・ 空き家や空き農地を活用し、中井町の良いところである「自然」を愛するひとへ提供・貸し出しするのが一案あるのではないか

2. 交通

- ・ 道が暗いために子供が安心して出歩けず、さらには親としても送迎の負担がかかっている
- ・ 高齢者として交通手段の確保も課題であり、支援の仕方や町民ドライバーなど新たな施策を考えてほしい

3. 高齢者の独居

- ・ 孤独を防ぐためのコミュニティの場づくりと、その場に行くための交通の改善
- ・ 少子高齢化の解決策としてベンチャー企業等と呼び込み、先進モデル地区としてのブランディングを図れないか

4. 子育て支援

- ・ 児童館をつくり、子育て支援が手厚いことを対外的にアピールしながら子育て世帯の居場所を作ってほしい
- ・ 自治会やこども会を復活させ、学びや娯楽の機会をすべての世帯に平等に提供してほしい

5. その他

- ・ NPOなど有志で取り組んでいる人同士を繋げ、活動を発信する場がほしい。取り組みの場所に行政も顔を出してほしい。

2. 町民ワークショップで得られた意見

Point 地域や個人でできることについては、以下の意見があげられた。

● 地域で取り組むべきことの議論

- ・ 子供の場づくりについては、行政だけでなく地域の取り組み(コミュニティボランティアなど)が必要である
- ・ 子供が安心して出歩けるようにPTAなどによる地域住民を起点とした安全の強化も考えられる
- ・ 健康についても地域でのつながりが有効と考える。近隣住民のつながりによる健康増進施策ができないか
- ・ 住民間のコミュニケーションの促進に向け、自治会の存続や町民主体のワークショップ、イベントが有効
- ・ 新たなひとを受け入れるために「否定しない」「受け入れる気持ち」など、寛容的な風土づくりが必要

● 個人で取り組むべきことの議論

- ・ 個人レベルでも人口減少への意識を持つことや、地域のつながりをつくることが重要なのではないか
- ・ 個人としても中井町の良さや名産品をSNS等で発信することがまちのブランディングに寄与できないか
- ・ オンデマンドバスなど、既にある施策に対し実際に利用して応援する
- ・ 隣人同士で声掛け等をしながら、自治会や子供会に加入する
- ・ 孤独の防止や地域での健康増進のために、地域内であいさつや声掛けをする

2. ウェルビーイングストーリーの納得感に関するヒアリング

Point

因果分析によって導いたロジックモデルを、ウェルビーイングストーリーとして落とし込み、このウェルビーイングストーリーに対する納得感を町民ワークショップにてヒアリングした。

項番	ウェルビーイングストーリー	納得する	納得しない	どちらでもない
1	中井町の人、職場や学校、家庭内で自分の居場所・立場を実感すると、地域のひととの信頼関係が生まれる。それがまちでの自分の居場所づくりや暮らしの愛着につながり、安心した生活環境になる。	69%	23%	8%
2	誰もが明るい気持ちになれる場所があると、職場や学校でやりたいことを実現したり、町の暮らし・文化に愛着を感じる。これらの営みが、地域とのコミュニケーションや助け合いにつながり、周囲の人との良い関係を築くことができる。これが中井町民の幸せである。	50%	46%	4%
3	まちでの十分な役割があることで、自分自身のケアや調和のとれた日常を過ごすことができ、日常生活に必要な経済的ゆとりの実感につながる。これが中井町の幸福にとって重要な要素である。	15%	81%	4%
4	友人と良い時間を過ごす充実感を感じられ、自分自身がケアされる気持ちになったり、問題があっても乗り越えられると前向きな気持ちになる。これによってお互いを助け合うゆとりが生まれ、日常でも調和がとれ、まちのなかで居場所を感じられる。これが中井町民の幸せである。	73%	27%	0%
5	自然に囲まれたなかで学ぶ時間や趣味など夢中になれることがあると、やりがいや充実感が生まれ、ありのままの自分を実感する。さらに自分の居場所につながり、身体・精神的な健康な暮らしが実現できる。	72%	24%	4%

2. ウェルビーイングストーリーの納得感に関するコメント

Point

各ウェルビーイングストーリーに対しいただいた意見を以下に示す。
これらの意見も踏まえ、第七次総合計画への反映を検討。

- ストーリー1
 - 地域のひとと繋がると、自己肯定感が上がったり気持ちに安定感が生まれたりする
 - 一方、「居場所・立場とまちの愛着」や、「居場所・立場の実感と信頼関係」には納得感を感じにくい
- ストーリー2
 - 「町の暮らし・文化に愛着を感じる」は幸せに感じ、地域とのつながりを大切にしようとするきっかけになる
 - 「明るい場所があることによって町の暮らし・文化に愛着を感じる」というのは違和感がある
- ストーリー3
 - まちから与えられた役割で新しい人間関係ができて、やりがいを感じるにより幸せを感じる人はいるかもしれない
 - 一方、十分な役割でもプレッシャーに感じたりやりたくない役割もあるので、負担に感じるひともいる
- ストーリー4
 - 友人と過ごすことはリフレッシュにもなるし助け合いの意識も生まれるため、必要性を感じており納得感がある
 - 一方、いい点だけではなく周り比べてしまったりするため、プラスの面ばかりではない
- ストーリー5
 - コロナ過でも自然の豊かな環境のおかげで穏やかに生活出来た。生活の豊かさと健康のつながりを感じる
 - 一方、自然の豊かさが自分の居場所につながるかという点ではあまり納得感を感じない

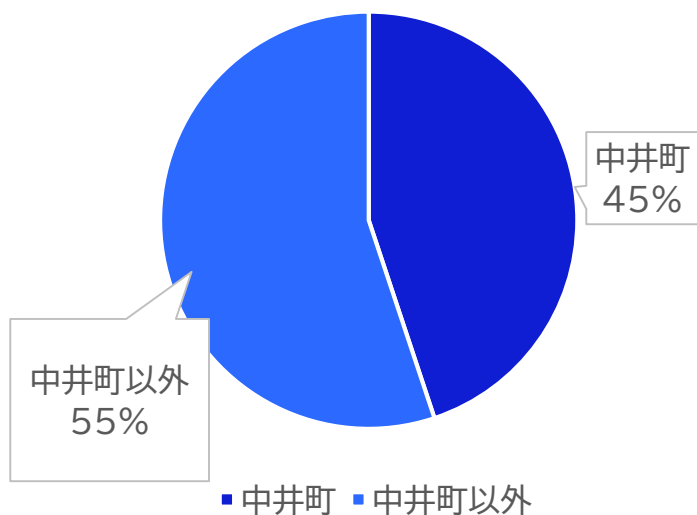
町民等に対するインタビュー調査の結果

3. 町民へのインタビューの結果

Point

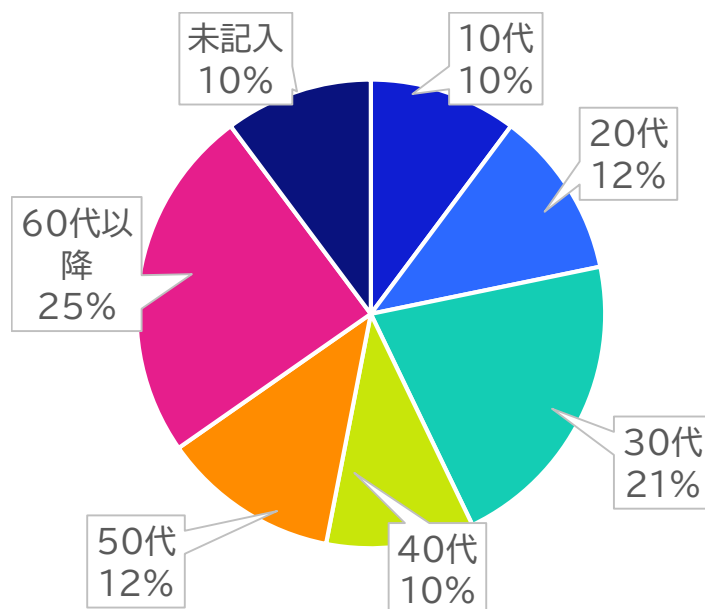
2024年10月20日(日)開催の美・緑なかいフェスティバルでは**147名**へインタビューを実施。
居住地別では中井町在住者が45%、中井町外の居住者が55%の比率で回答を入手。

回答者の推定属性(居住地別)



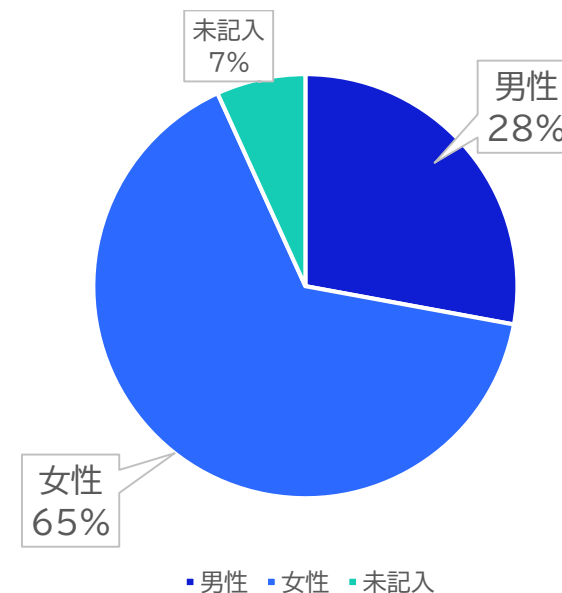
n=147

回答者の推定属性(年代別)



n=147

回答者の属性(性別)



n=147

3. 町民へのインタビューの結果

Point

暮らしの幸福や中井町の改善点について、インタビューを行った結果は以下のとおり。
自然や友人、地域、家族、平穏といった単語が頻出しており、アンケート因果分析と関連性が見えた。

暮らしの幸福について

- インタビュー実施前提
 - インタビュー対象は中井町民とする
- サマリ
 - 暮らしにおける幸福から想起するカテゴリワードとして、以下が頻出
自然(27.94%)、友人(27.94%)、地域(20.59%)、平穏(14.71%)、家族(10.29%)
 - 世代別の回答傾向として、未成年層は「自然・友人」、若年層は「地域・家族」、現役世代は「平穏・友人・地域」、高齢者層は「自然・家族・平穏・地域」に関連するワードを挙げる傾向あり
- ウェルビーイングアンケートの因果分析結果との関連性
 - インタビュー内で頻出された「家族」、「友人」、「地域」、「自然」に関するワードは、ウェルビーイングアンケートの因果分析結果からもウェルビーイングに繋がる因子として確認
 - 一方、インタビュー回答で頻出された「平穏」に関するワードがウェルビーイングアンケートのどの指標と結びついているか不明瞭

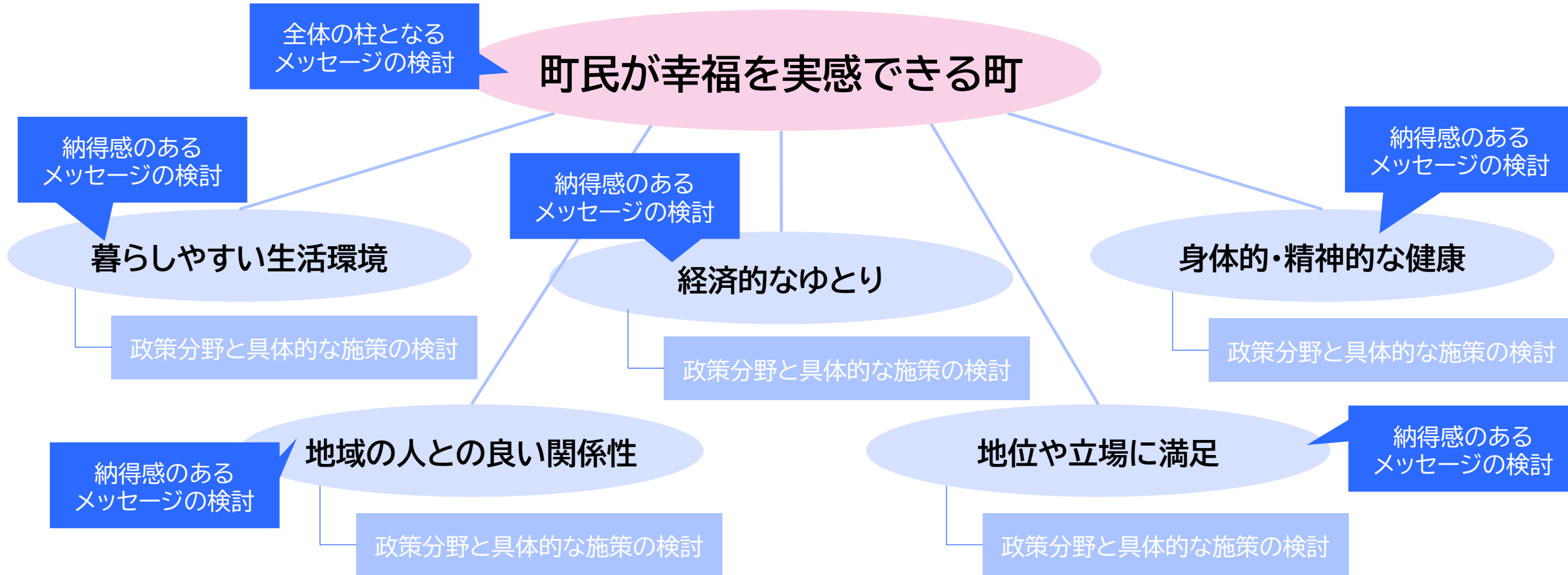
中井町の改善点について

- インタビューに関する前提
 - インタビュー対象は中井町民に加え、町外在住者へも実施
- 中井町民からの意見
 - 中井町の改善点及び居留意欲を高めるカテゴリワードとして、以下が頻出
交通(51.47%)、集まる・遊べる場所(20.59%)、道路などの環境整備(22.06%)、買い物(14.71%)、教育、医療
 - 世代問わず交通への意識が高いが、若年～現役世代は「教育・買い物」に意識が強く、高齢者層は「集まる/遊べる場所」への改善要望が高い
- 中井町以外に在住の方からの意見
 - 中井町民の傾向と大きな乖離はないが、アピール(WEBやSNSでの情報発信など)の強化を挙げる声もあった
- ウェルビーイングアンケートの因果分析結果との関連性
 - 「集まる・遊べる場所」は分析結果から「中井町は楽しく明るい気持ちになることができる場所や機会がある」、「観光、まちづくりは活力がある」の指標との因果関係があることが確認できる
 - 「生活環境の整備」はアンケート内の「中井町は、歩道や道路の整備がされており、安心して快適である」の指標が該当するが、因果分析結果ではウェルビーイングとの関連性は確認できなかった

4. 町民への意見聴取を踏まえたまとめ

Point

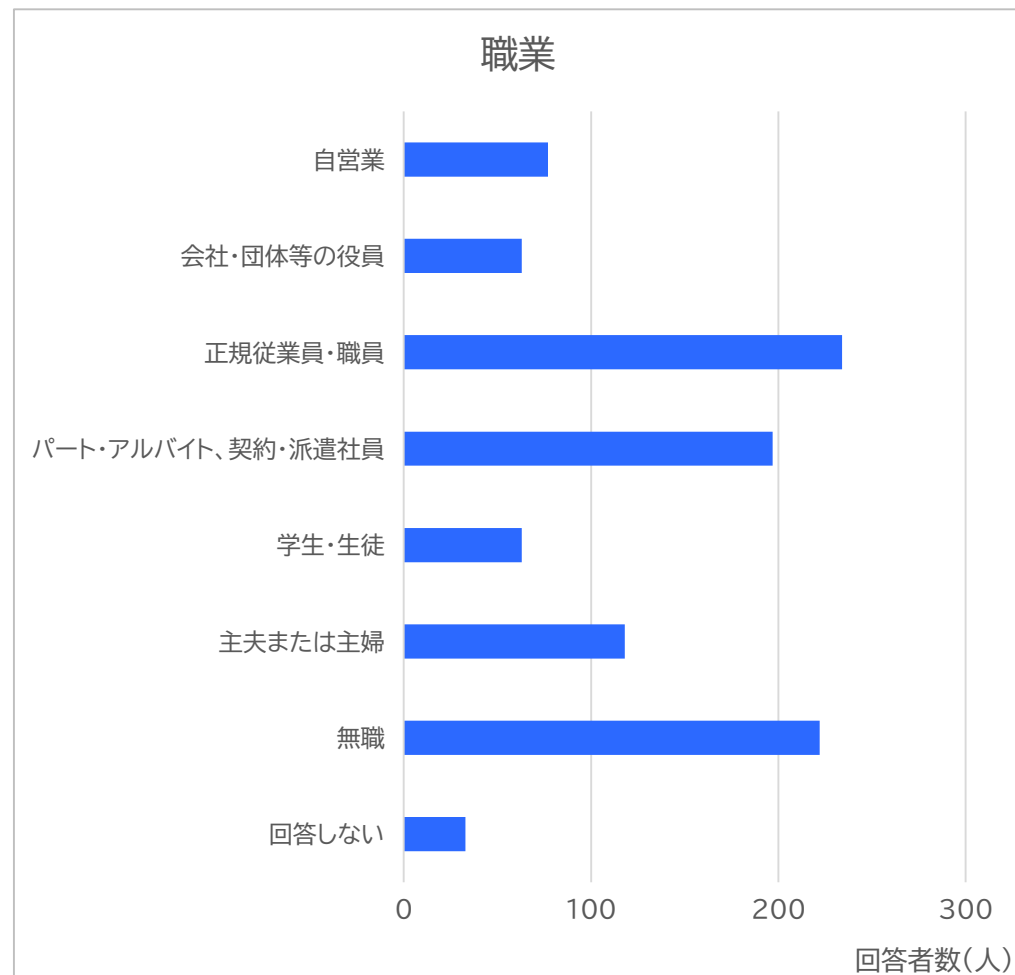
ウェルビーイングに関するアンケート等の実施を通じて、町民がどのような要素に対して幸福を感じているかが明らかとなっており、これらのデータ分析を踏まえて、総合計画の企画立案を進める。



参考資料

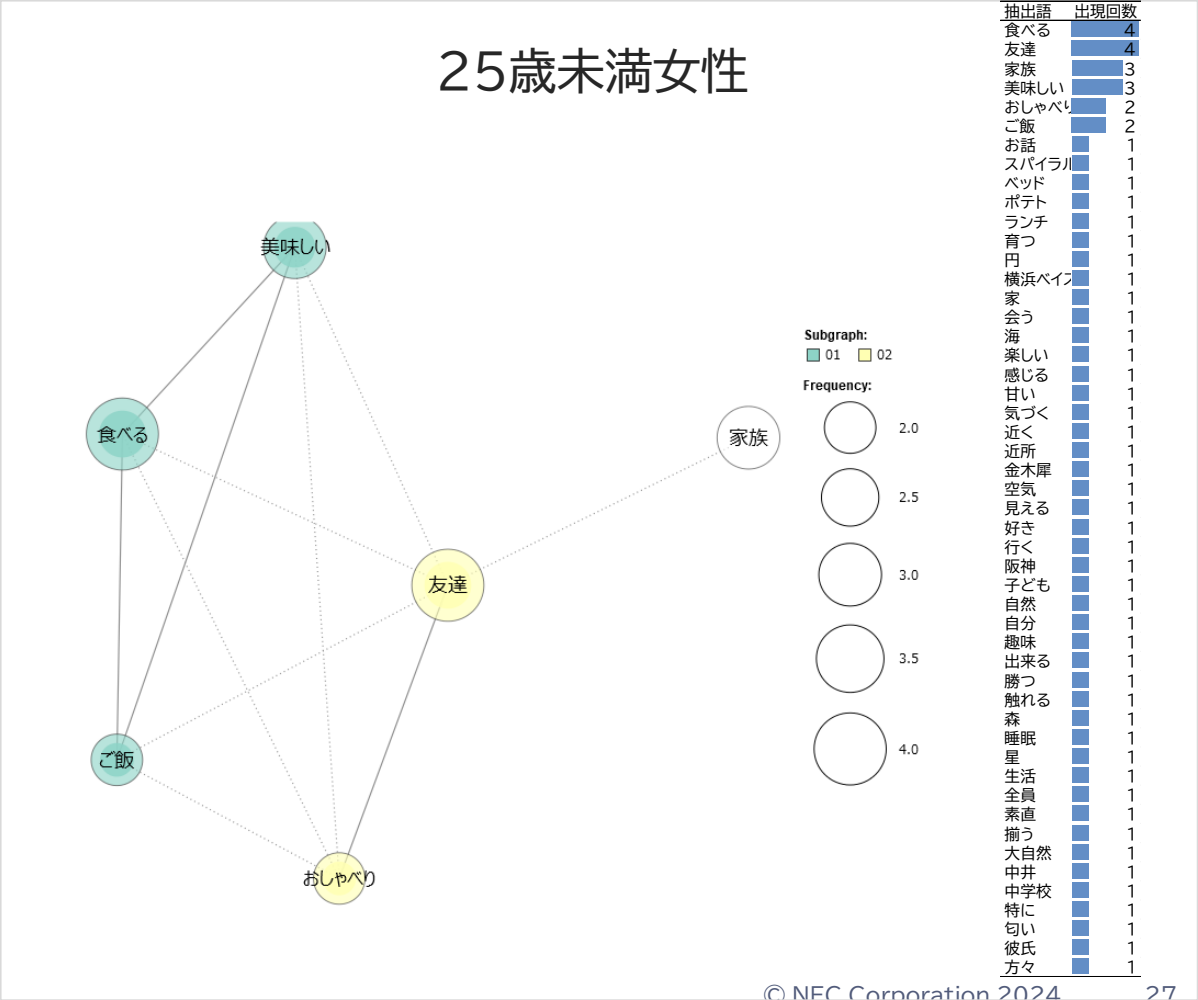
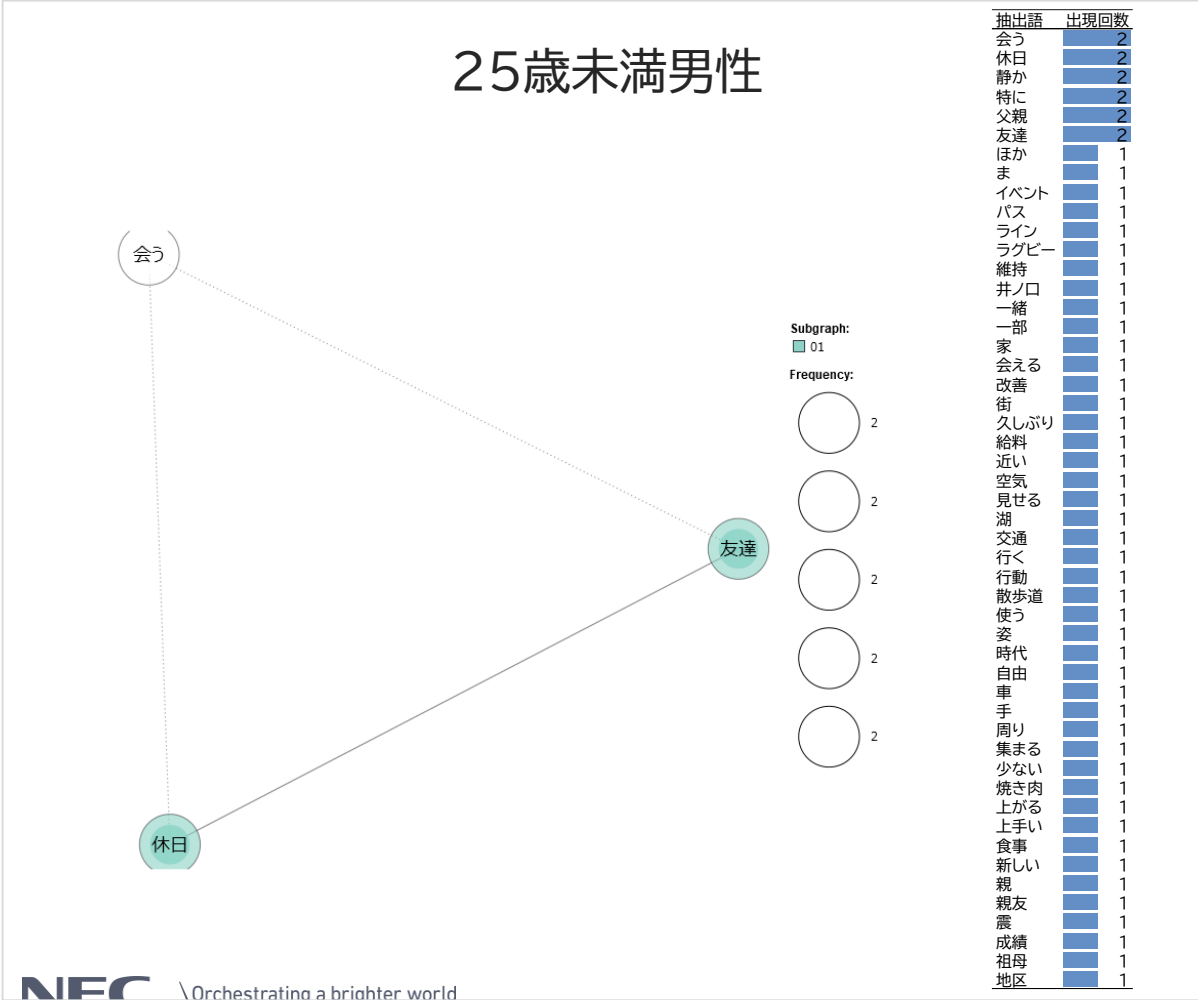
1. 町民のウェルビーイングに関する調査結果

Point 回答者の状況は次のとおり。



1. 町民のウェルビーイングに関する調査結果

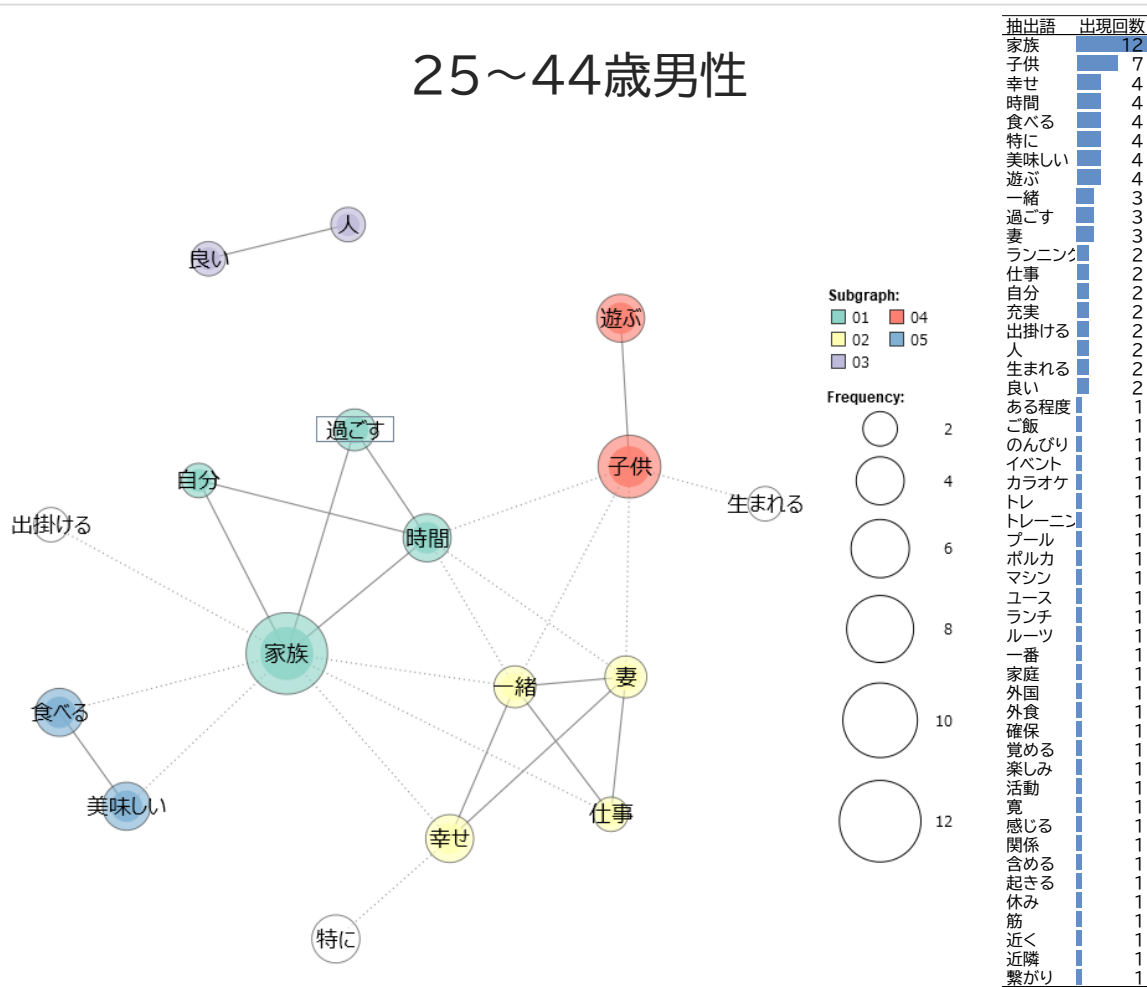
Point 「幸せを感じる時」についての自由回答の状況は以下の通り。



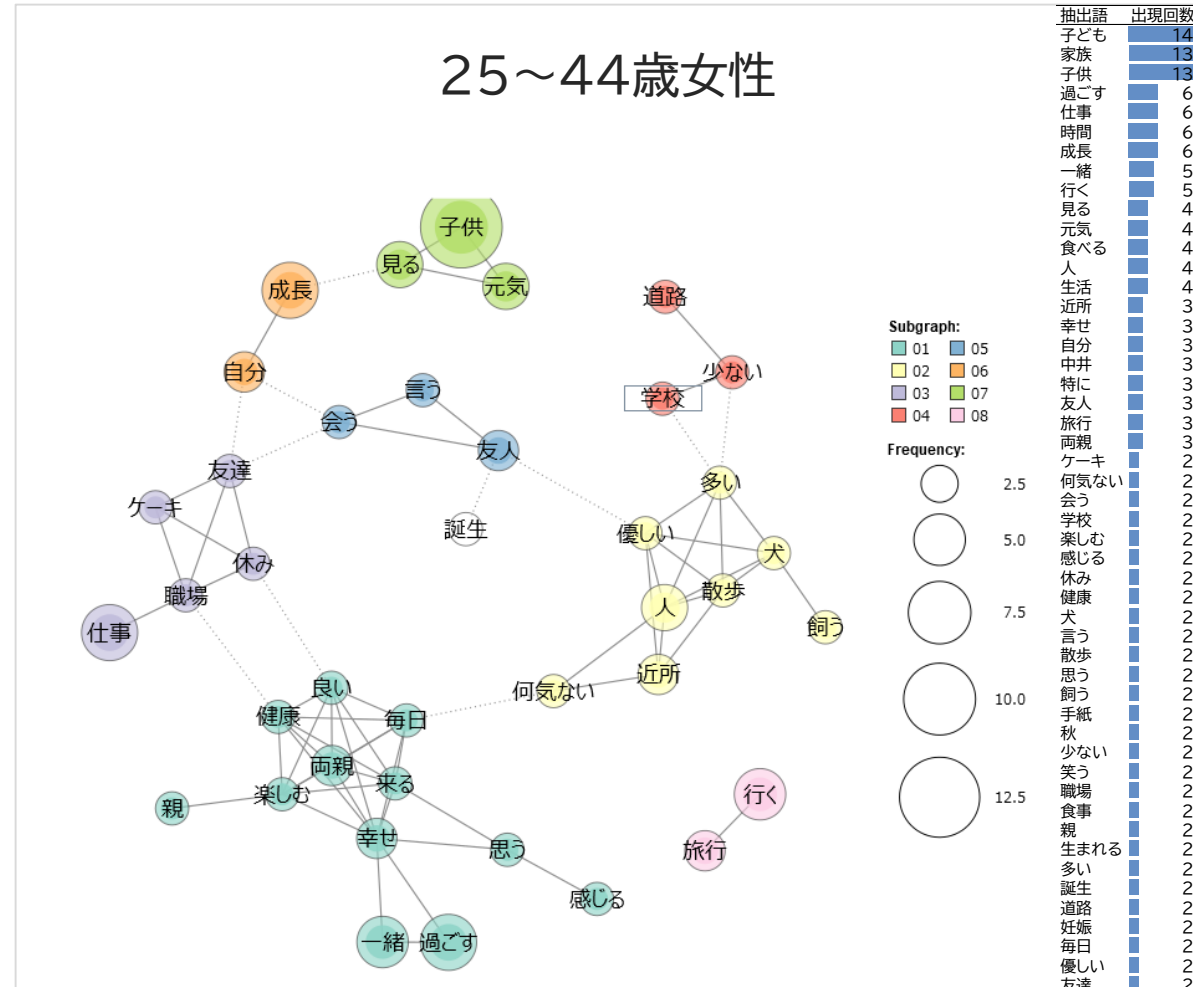
1. 町民のウェルビーイングに関する調査結果

Point 「幸せを感じる時」についての自由回答の状況は以下の通り。

25～44歳男性

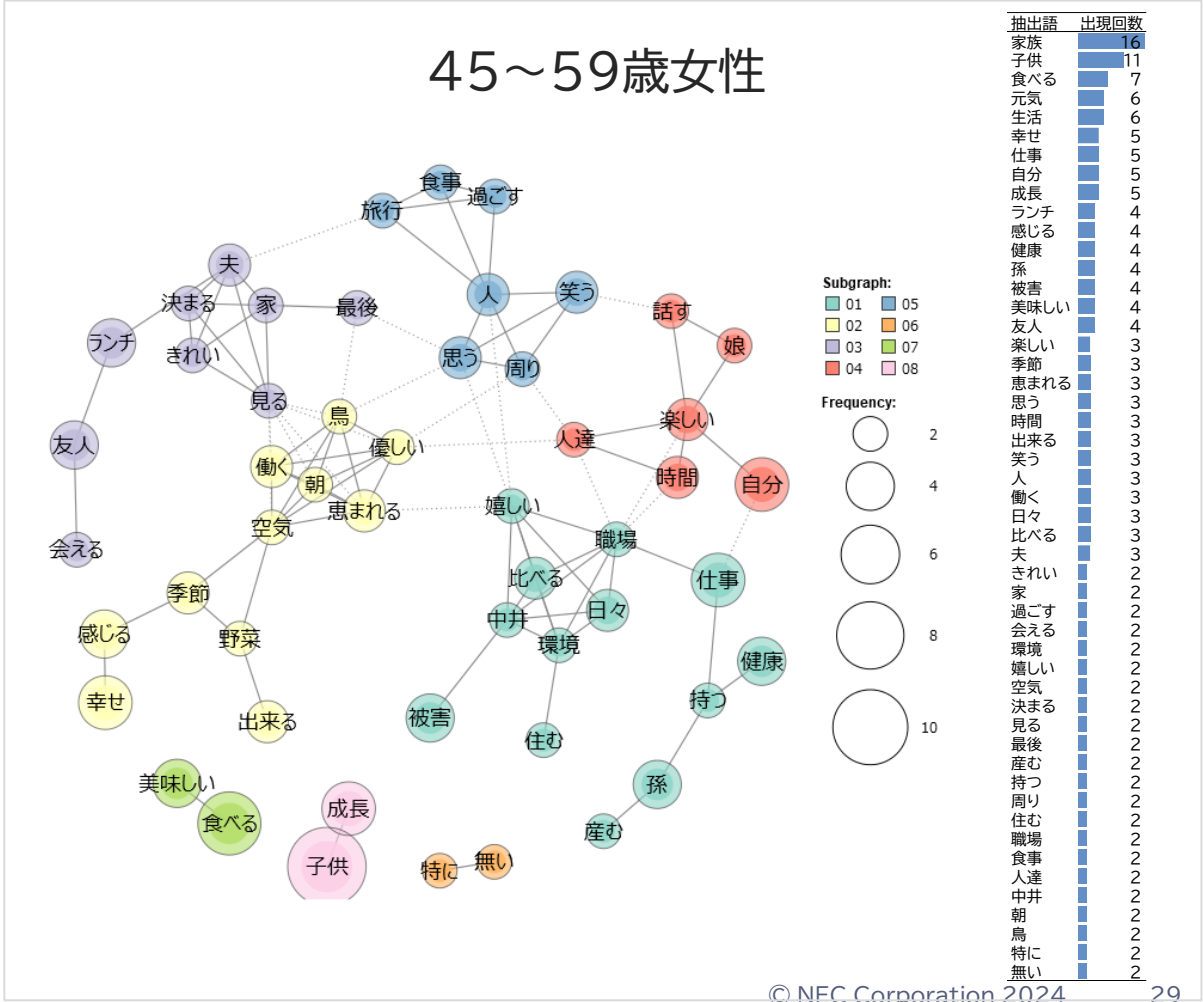
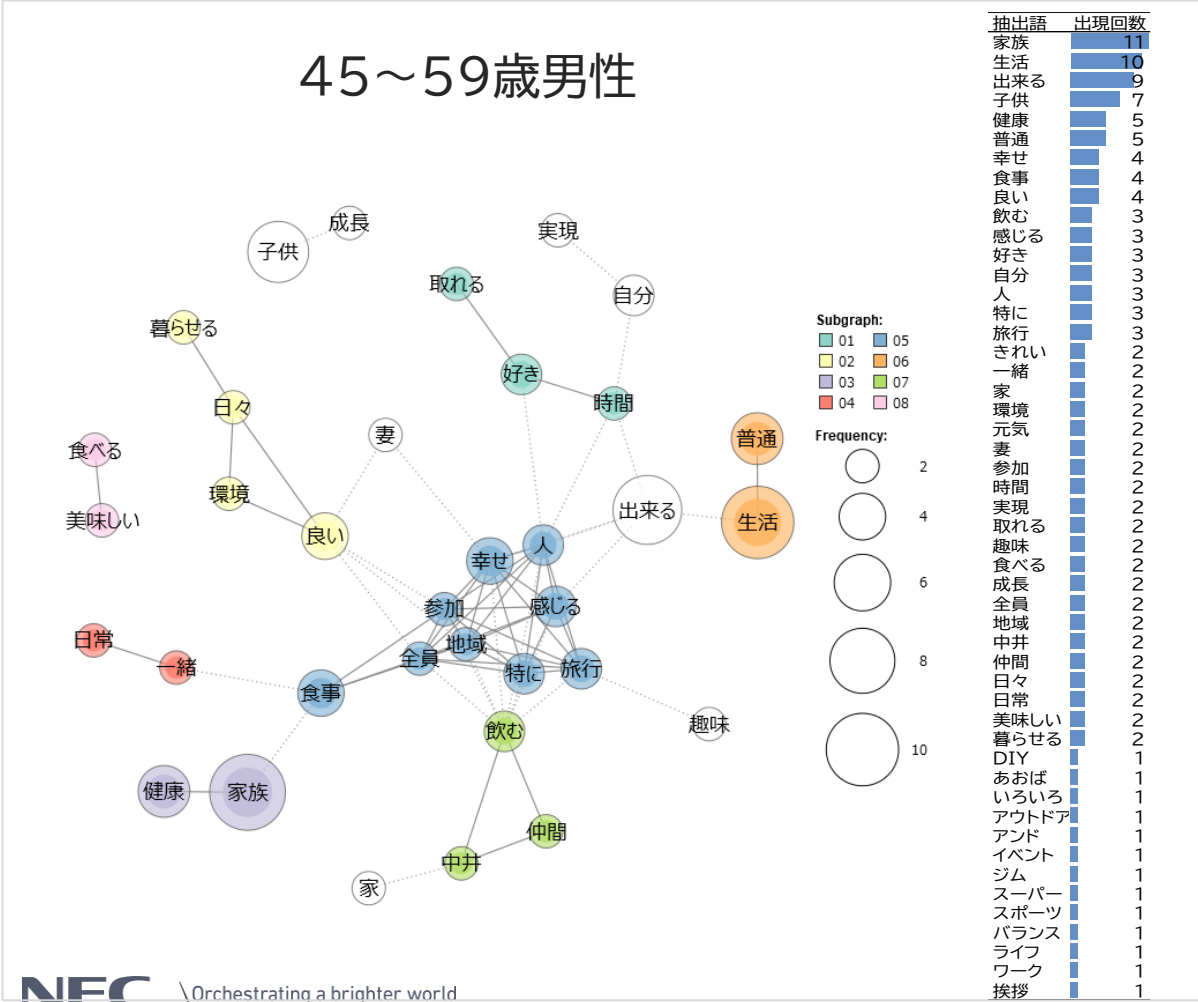


25～44歳女性



1. 町民のウェルビーイングに関する調査結果

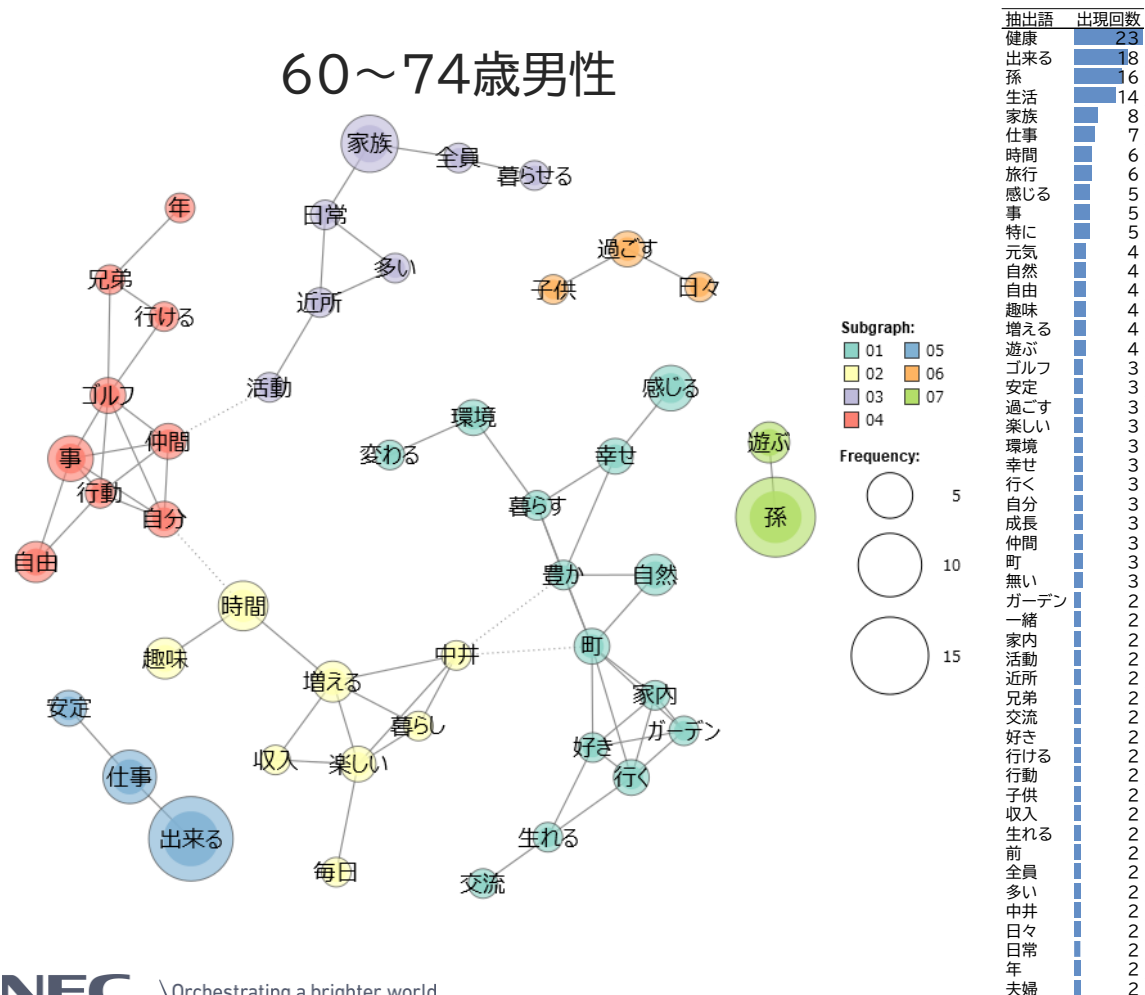
Point 「幸せを感じるとき」についての自由回答の状況は以下の通り。



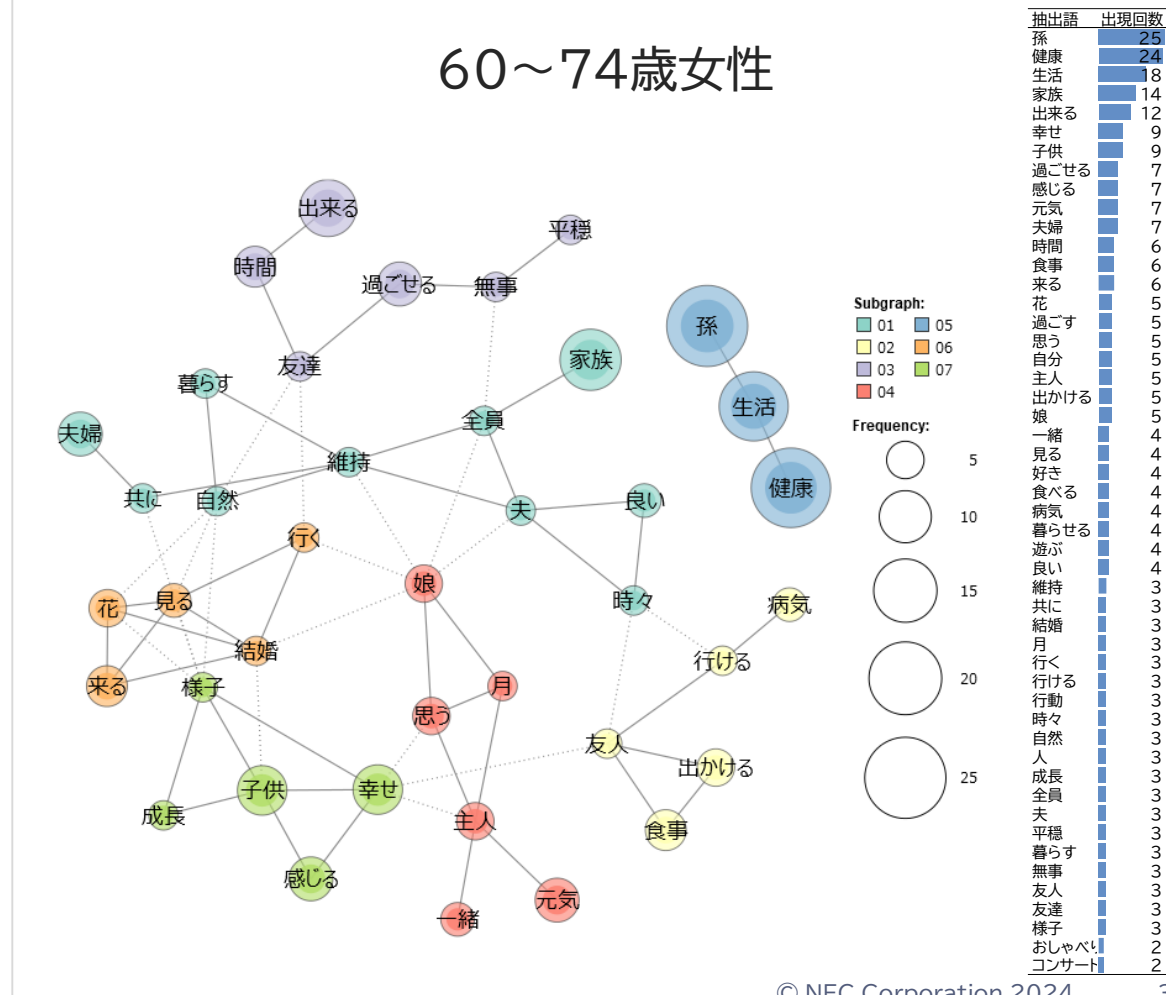
1. 町民のウェルビーイングに関する調査結果

Point 「幸せを感じるとき」についての自由回答の状況は以下の通り。

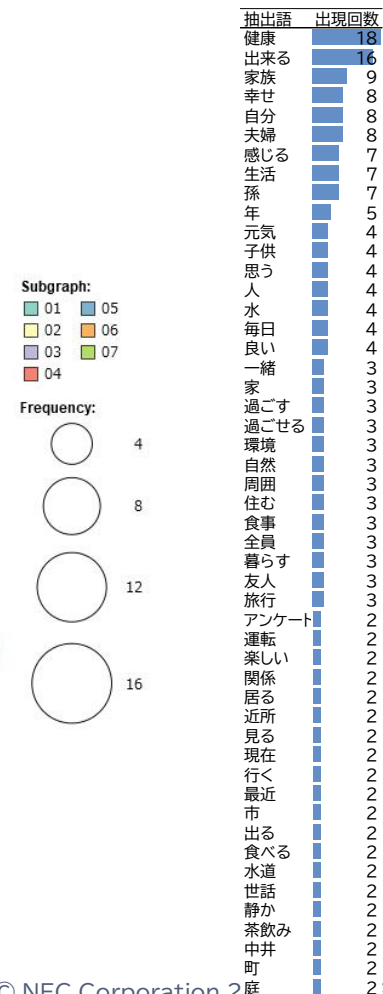
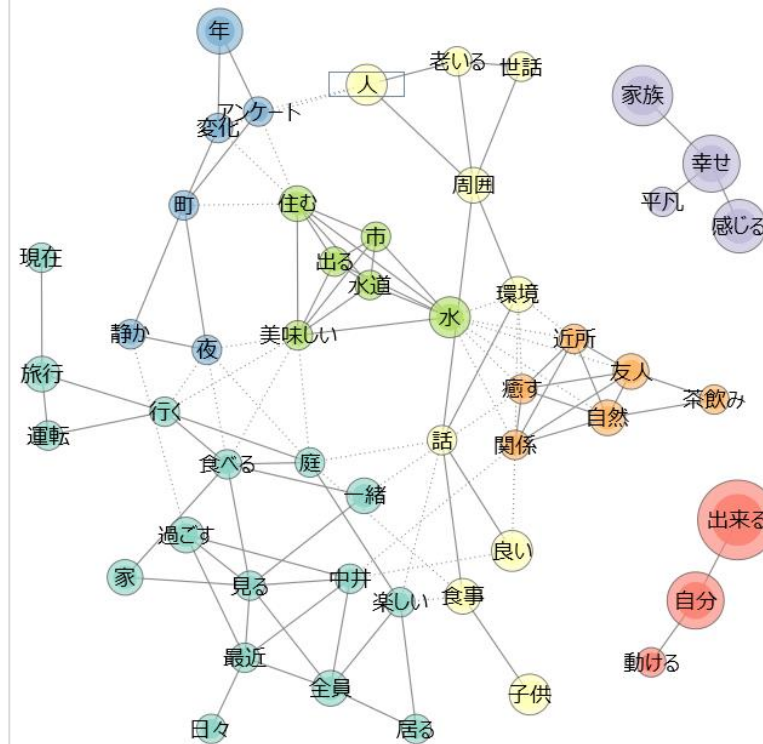
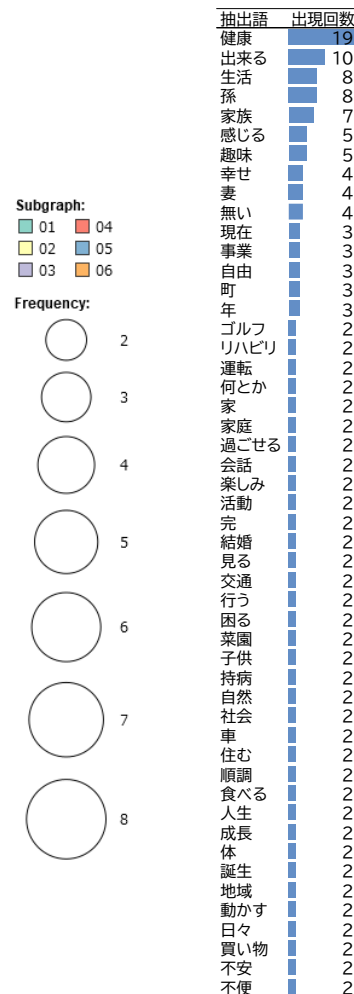
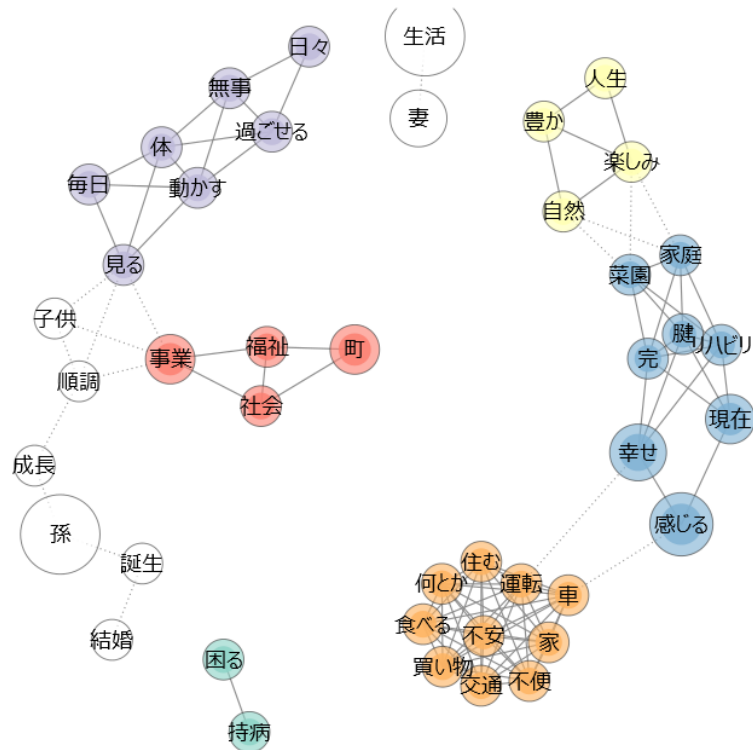
60～74歳男性



60～74歳女性

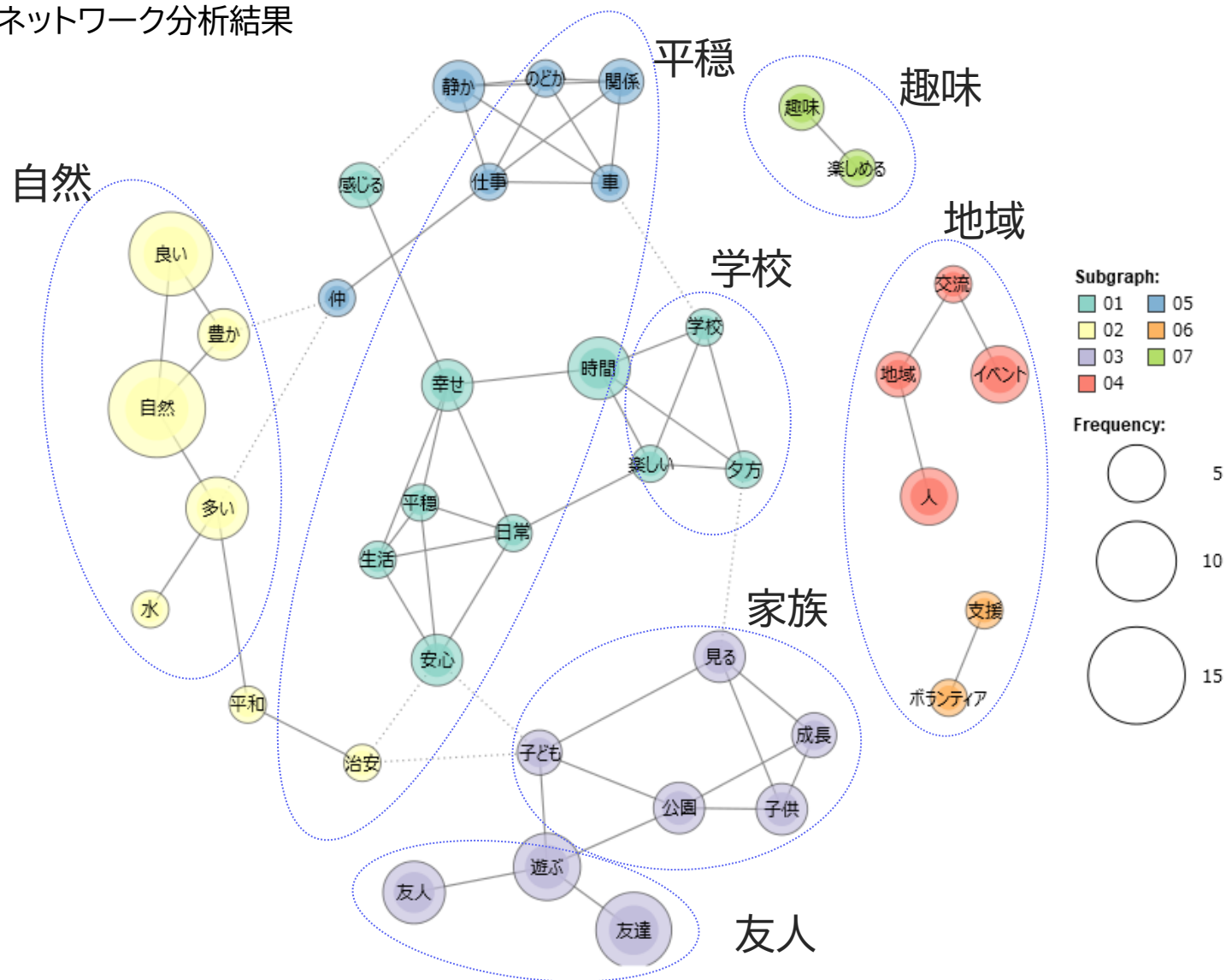


Point



3. 町民へのインタビューの結果

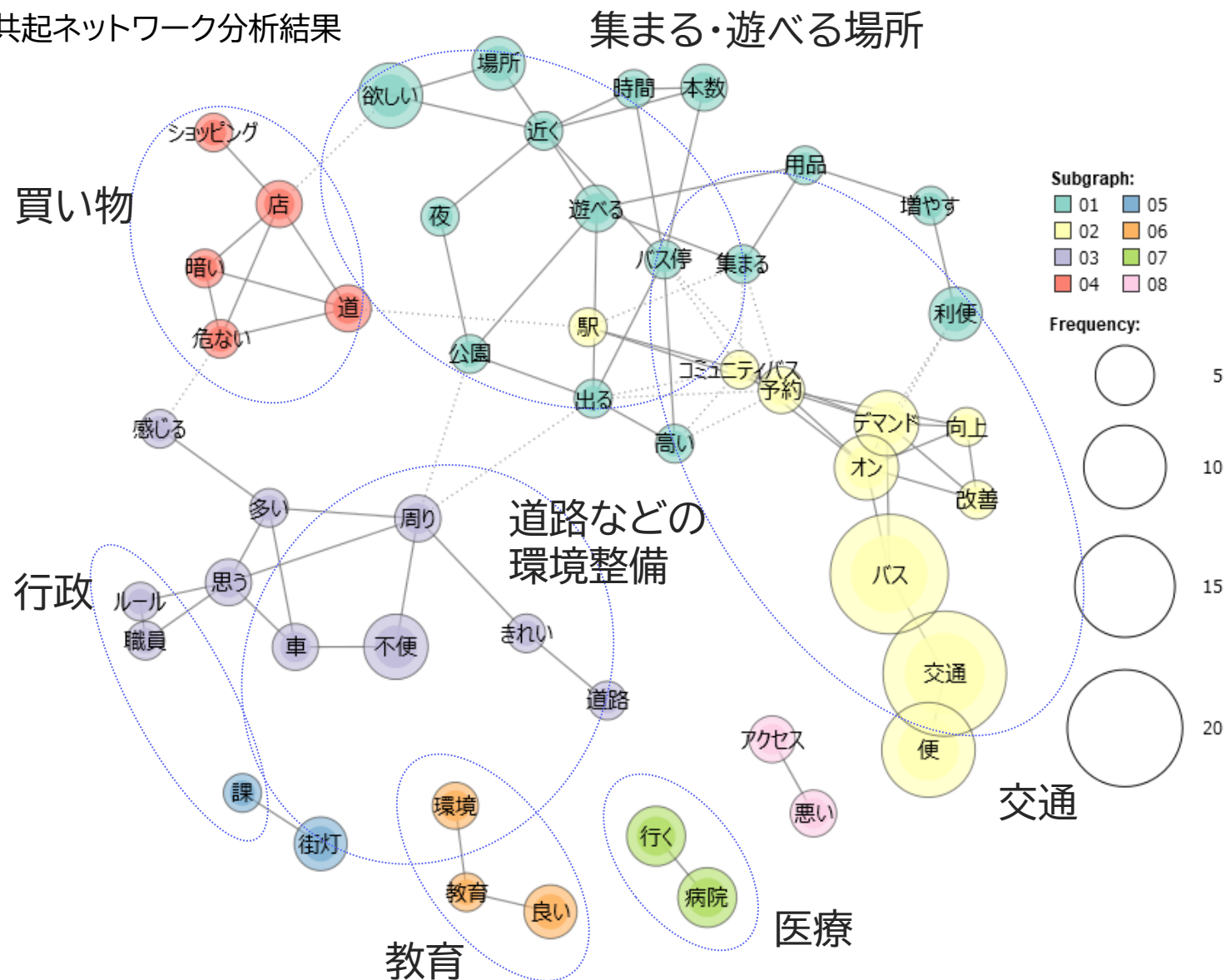
暮らしの幸福に関する共起ネットワーク分析結果



3. 町民へのインタビューの結果

中井町の改善点に関する共起ネットワーク分析結果

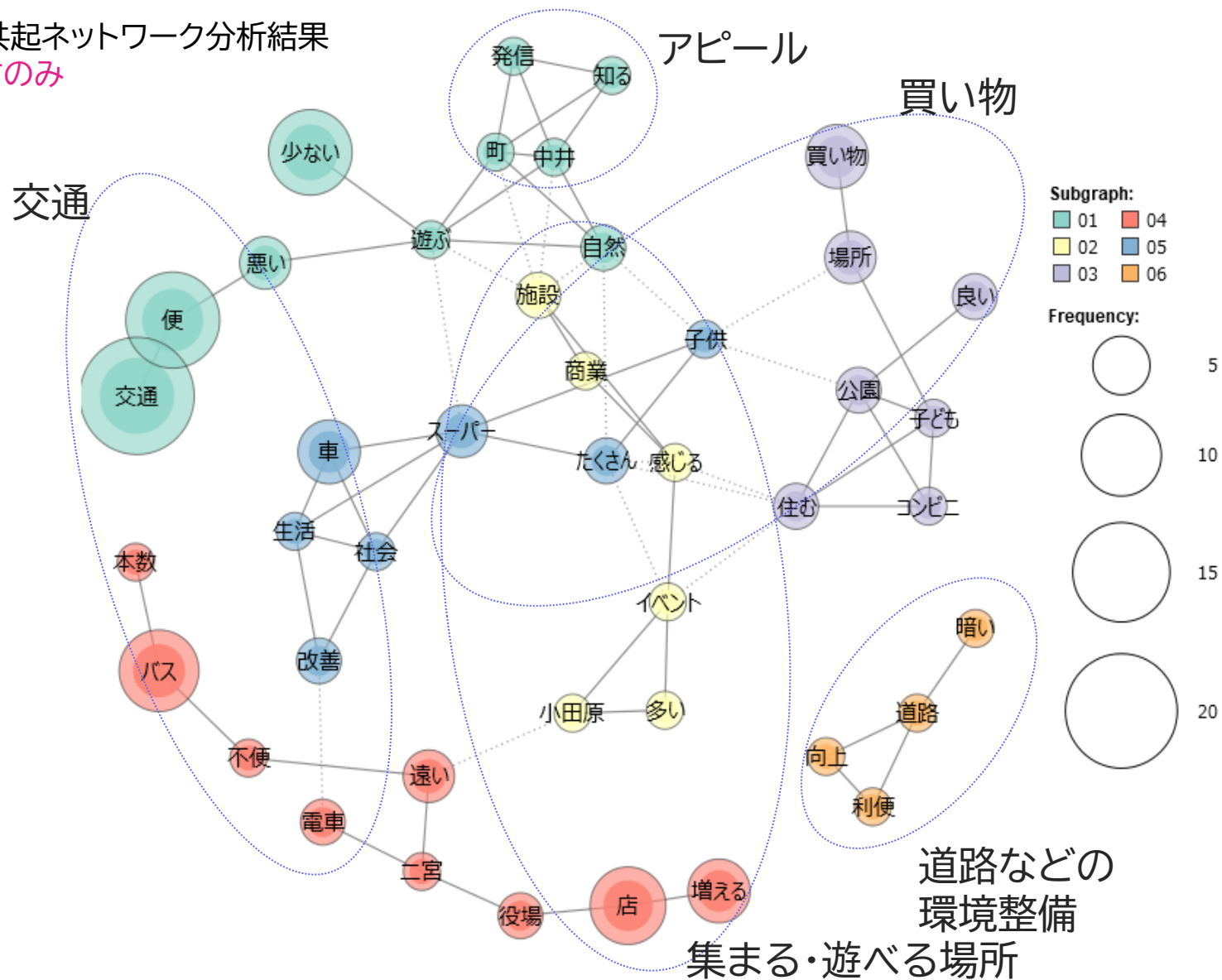
※中井町民のみ



3. 町民へのインタビューの結果

中井町の改善点に関する共起ネットワーク分析結果

※中井町以外に在住の方のみ



NEC

\Orchestrating a brighter world